



ぼうさい
こくたい
2021

—いわて釜石から—



～震災から **10** 年～

つながりが創る復興と防災力





内閣府特命担当大臣(防災)

二之湯 智

「防災推進国民大会2021」の開会に当たり、ご挨拶申し上げます。防災推進国民大会、通称「ぼうさいこくたい」は、防災に取り組む様々な団体や機関、国民の皆様が一堂に会し、それぞれの知識、経験、技術などを広く発信し、交流する国内最大級の防災イベントとして、平成28年度から毎年開催してまいりました。

今年の大会は、東日本大震災から10年の節目を迎えた岩手県釜石市で開催することとなりました。釜石市をはじめ岩手県では、着実に復興が進んでおりますが、災害の経験を風化させないため、教訓を次の世代に語り継ぎ、防災意識をさらに高めるような取組を進めています。このため、今大会のテーマは「つながりが創る復興と防災力」とし、東日本大震災からの10年を振り返るとともに、これからの復興と防災のあり方を考え、震災の経験と教訓を多くの方々へ、そして、未来へと「つなげる」機会にしたいと考えております。

近年、災害が激甚化、頻発化し、巨大地震の発生も懸念されている中、我が国全体の防災力を高めていかなければなりません。そのためには、行政による「公助」はもとより、私たち国民一人一人が、「自らの命は自らが守る」意識を持って災害に備える「自助」と、地域コミュニティ、学校、企業、ボランティアなどが助け合う「共助」を組み合わせることが大切です。

今年は、新型コロナウイルス感染症の拡大防止の観点等から、ハイブリッド形式の開催とさせていただきますが、現地参加の方だけでなく、オンライン参加の方も含め、様々な分野の防災の担い手が集うぼうさいこくたいを通じて、防災について学び、参加者の方々や出展者同士のつながりにより教訓やノウハウを共有し、連携を深めていただき、その結果、わが国の防災力が一層強化されることを期待しています。

結びに、本大会の開催に当たり格別のご尽力、ご協力をいただいた岩手県、釜石市をはじめ、関係する多くの皆様に深く感謝申し上げますとともに、大会の成功を心から祈念いたします。



防災推進国民会議議長、防災推進協議会会長（日本赤十字社社長）

大塚 義治

東日本大震災から10年が経過しました。改めて、犠牲となられた全ての方々に対し哀悼の意を表します。新型コロナウイルス感染症により、握手等のつながりがためられる昨今ですが、私たちは防災・復興に関して、気持ちを一つに強いつながりを持つ必要があるでしょう。

本大会は、オンライン参加、現地参加を組み合わせたハイブリッド形式として開催されます。岩手県と全国の皆様が一体となって、災害にどのように備えるべきか具体的に考える機会となりますよう、心から期待します。



防災推進国民会議副議長（日本消防協会会長）

秋本 敏文

東日本大震災から約10年経過ですが、あの時のことは誰も忘れられません。その後、様相が変わってきたなと思われるさまざまな災害が多発し、激甚化しています。「ぼうさいこくたい」はそのようななか発足し、今年では第6回です。これまでの苦しい体験を忘れることなく、今後の対応を考え、ひとつひとつ実行していかなければなりません。国の施策も重要ですが、原点ともいえる、それぞれの地域での、皆さん総参加総活躍の対応が益々大切になっています。今年の大会がまたお役にたてるようにいたしたいと思います。



岩手県知事

達増 拓也

東日本大震災津波から10年の重要な年に、「防災推進国民大会2021」を岩手・釜石で開催いただき、心から御礼申し上げます。また、開催に御尽力いただいた関係者の皆様に深く敬意を表します。

本大会を通じて、復興に力強く取り組む地域の姿や三陸地域が持つ多様な魅力が広く発信されることを期待しています。

岩手県としましては、今後も、「いわて県民計画(2019～2028)」における「誰一人として取り残さない」という理念の下、被災者一人ひとりに寄り添った支援に取り組むとともに、震災の記憶を風化させず、被災県として得た教訓を後世や国内外の人々に伝えてまいりますので、皆様におかれましても、引き続き御支援・御協力をお願いいたします。



釜石市長

野田 武則

東日本大震災の発生から、10年の歳月を重ねました。この間、世界中の方々から温かいご支援と全国の自治体から多くの派遣職員のご協力をいただきましたことに、心から感謝申し上げます。

防災推進国民大会2021の釜石での開催を通じて、東日本大震災から10年を経た地域の姿を発信するとともに、震災の経験や未来の命を守る教訓をより多くの方々に伝えることが重要であると認識しています。

全国各地で災害が頻発しているなか、将来にわたり誰一人として犠牲にならないまちづくりを進めることは、私達の共通の願いです。

本大会が防災について考える機会となり、多くの皆様や地域の防災意識・防災力の向上につながることを期待しています。

現地で参加される皆さまへ

新型コロナウイルス感染症拡大防止対策のため、岩手県が定める新型コロナウイルス感染症の感染防止対策及び一般社団法人日本展示会協会が策定する「展示業界におけるCOVID-19感染拡大予防ガイドライン」を遵守したイベントの計画および運営を行います。
現地で参加される皆さまにおかれましては、以下の点に御留意いただき、必ず事前に参加登録の上、御参加いただきますよう、お願いいたします。

1. 当日の入場確認

- 登録フォームで登録された方には事前登録確認メールをお送りします。当日は、会場入口にて確認メールのご提示をお願いします(プリントアウトでもスマホ等の画面でも結構です)。なお、当日の来場者数が一定数を上回った場合は、一時的に入場をご遠慮いただく場合があることをあらかじめご了承ください。万が一登録確認メールが届かない場合は、事務局までメールでお知らせください。事務局アドレス：bousaikokutai@toiawase.info

2. 飲食について

- 飛沫感染防止のため、会場内の食事はご遠慮ください。また、県外からの来県者に対する岩手県の実情を踏まえ、会場外においても、会食等はできるだけお控えください。

3. 健康管理の徹底

- 身体の状態が以下①～③に1点でも当てはまる場合、参加をお控えください。

- ①体温が37.5℃以上の場合(または平熱を1℃以上超える場合)
- ②咳、倦怠感等風邪の症状がある場合、味覚・嗅覚の異常がある場合
- ③海外渡航歴があり帰国後2週間を経過していない場合

会場には駐車場がありませんので、公共交通機関でお越しいただくか、近隣の駐車場等をご利用ください。
(会場敷地内や会場周辺の空きスペースへの駐車はご遠慮ください)

4. 手洗い・指消毒の励行

- 入場時及び各プログラムの参加前、参加後のいずれにおいても、手洗いやアルコール消毒を徹底ください。

5. マスクの着用

- ご来場の際は、移動中、プログラム中を問わず、マスクの着用を徹底ください。
- 咳エチケットにもご協力ください。

6. 対人距離の確保

- フィジカルデスタンス(物理的距離)をつねに意識した行動をお願いします。
- 各会場、セッションごとに参加人数の上限を設けます。恐れ入りますが、定員に達した場合の参加はご遠慮ください。

7. その他

- 新型コロナウイルス接触確認アプリ「COCOA」のインストールを事前にスマートフォン等にインストールの上、御来場をお願いいたします。
- 事前の来場者登録情報は、新型コロナウイルス感染症の拡大防止を目的として国の機関等からの要請があった場合に提供いたしますのであらかじめ御了承ください。

会場

釜石市民ホール TETTO

住所：〒026-0024 岩手県釜石市大町 1-1-9
電話番号：0193-22-2266 / FAX：0193-22-3809

ホテルサンルート釜石

住所：〒026-0024 岩手県釜石市大町 2丁目 3-3
電話番号：0193-24-3311

イオンタウン釜石

住所：〒026-0011 岩手県釜石市港町 2丁目 1-1
電話番号：019-322-0033

釜石 TETTO と屋外展示会場の移動はイオンタウン釜石の店内(2階フロア)を経由してください。

- ① 釜石市民ホール TETTO
セッション
会場：ホールA、ホールB
プレゼンブース
会場：共通ロビー、ギャラリー
ワークショップ
会場：スタジオA、スタジオB
- ② 釜石情報交流センター
プレゼンブース
会場：会議室1、会議室2
- ③ 釜石PIT
セッション
会場：多目的集会所
- ④ ホテルサンルート釜石
セッション
会場：鳳凰東、鳳凰西
ワークショップ
会場：桐
- ⑤ イオンタウン釜石第2駐車場
屋外展示
会場：第2駐車場

オンラインでご参加される皆さまへ

オンラインでの視聴や実際に釜石でご参加が可能なプログラムは下記のアイコンを目印にしてください

- 📺 ONLINE 📺 録画映像をオンラインでいつでも視聴可能なプログラム
- 📺 LIVE 📺 ライブ配信をリアルタイムで視聴可能なプログラム
- 📍 REAL 📍 釜石で実際にご参加いただけるプログラム

※オンラインでの視聴・ご参加には事前申し込みが必要なプログラムもありますので、詳細は各プログラム詳細をご覧ください。

会場マップ詳細

マップに記載の番号はプログラムの各番号になります

釜石市民ホール周辺



TETTOギャラリー <プレゼンブース>



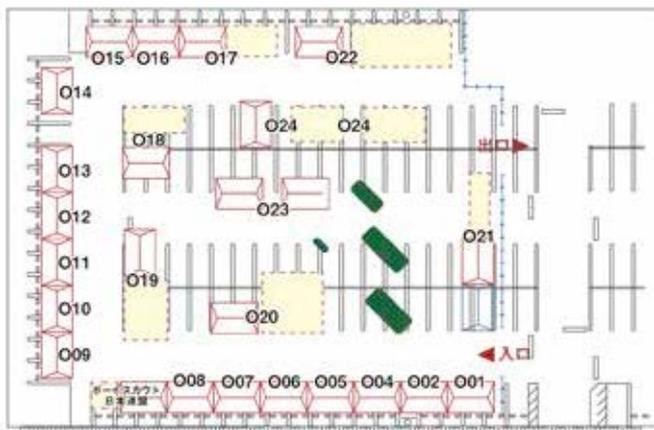
PIT 会議室



ホテルサンルート釜石



イオンタウン釜石第2駐車場



セッション



11月6日 土

		10:30-12:00	12:15-12:55	13:00-14:00	14:30-16:00	16:30-18:00
釜石市民ホール T E T T O	ホール A	S01 岩手・釜石の東日本大震災 10年の活動に学び、 熱のある多様な つながりをつくる 主催団体：TEAM 防災ジャパン ▶ LIVE REAL	オープニング セレモニー ▶ LIVE REAL	オープニング& オープニング ディスカッション ▶ LIVE REAL	ハイレベルセッション つながりが創る 復興と防災力 ～東日本大震災の経験から～ ▶ LIVE REAL	S02 災害廃棄物の処理 主催団体：公益財団法人 日本消防協会 ▶ LIVE REAL
	ホール B	S05 避難を!命をあきらめない! 震災から生まれた 車いすの避難用具で、 命を守る行動を! 主催団体：株式会社 JINRIKI REAL			S06 社会と東北大学が 共につむぐ レジリエントな世界 主催団体：東北大学 災害科学 国際研究所 ▶ LIVE REAL	S07 ラストワンマイルにいか 緊急支援物資を届けるか ～ブッシュ型支援輸送を考える～ 主催団体：一般財団法人危機 管理教育 & 演習センター ▶ LIVE REAL
釜石P O R T	多目的 集会室	S11 我が国の災害対策力の向上の提案 ～東京大学の災害対策 トレーニングセンター(DMTC)～ 主催団体：東京大学大学院情報学環 総合防災情報研究センター/ 生産技術研究所附属災害対策 トレーニングセンター(DMTC) ▶ LIVE			S12 防災分野への ドローン利用の最前線 主催団体：一般社団法人 日本ドローンコンソーシアム ▶ LIVE REAL	S13 東日本大震災津波からの 復興と地域防災力の強化 ～「防災を学習する場」 としての岩手～ 主催団体：岩手県 ▶ LIVE REAL
	鳳凰(西)	S16 地域防災の担い手や ジオガイドが徹底質問 「地震のごと語れるまで教えて」 =どこまで分かった東北地方太平洋 沖地震、何が分かってない日本海溝・ 千島海溝や南海トラフの地震 主催団体：公益社団法人日本地震学会 ▶ LIVE REAL			S17 台風・豪雨災害から 日本の森林を守る 自伐型林業の可能性 主催団体：NPO法人持続可能な環境 共生林業を実現する 自伐型林業推進協会 ▶ LIVE REAL	S18 わたし、防災には 関心がありません! 主催団体：アールシーソリューション 株式会社 ▶ LIVE REAL
ホテルサンルート釜石	鳳凰(東)	S21 令和新時代の民間防災 ～自助・共助の新たな視点～ 主催団体：特定非営利活動法人 日本防災士会 ▶ LIVE REAL			S22 その気づきが、 みんなを守る ～災害リスクと事業継続への備え～ 主催団体：中小企業庁 事業環境部 経営安定対策室 ▶ LIVE REAL	S23 岩手大学地域防災 フォーラム：学校教育現場に おける防災教育・ 活動の融合と実質化 主催団体：岩手大学地域防災研究センター ▶ LIVE REAL
	LINE1	S26 土砂災害VRや マイタイムラインなどを 活用した効果的な防災教育 のあり方について 主催団体：広島県 ◎ ONLINE ◎			S27 防災教育と災害伝承 主催団体：防災学術連合体・ 日本学術会議 ▶ LIVE	S28 3者連携の必要性和平時からの備え ～東日本大震災・台風被害を経験した 岩手だからこそ伝えたいこと～ 主催：特定非営利活動法人いわて連携復興センター、 いわてNPO災害支援ネットワーク 共催：岩手県、社会福祉法人岩手県社会福祉協議会 ◎ ONLINE ◎
配信	LINE2	S31 地区防災計画の更なる 可能性を考える 主催団体：内閣府防災担当 普及啓発・連携担当 ◎ ONLINE ◎			S32 災害時における情報共有 主催団体：公益社団法人 日本医師会 ◎ ONLINE ◎	S33 震災廃棄物(コンクリート構造物を 大割で解体したブロック(シティコンと 呼ぶ))を利用した海の食料増産 主催団体：特定非営利活動法人 東京いのちのポータルサイト ◎ ONLINE ◎
	LINE3	S36 災害と先端技術 -そこにAI(愛)はありますか- 主催団体：一般社団法人 DroneAI 技術研究機構 ◎ ONLINE ◎			S37 災害体験を語り継ぐ意味 主催団体：防災教育学会 ◎ ONLINE ◎	S38 主体的に防災活動が できるようになる環境づくり 主催団体：清流の国ぎふ防災・減災センター ◎ ONLINE ◎
	LINE4					S40 公開シンポジウム「21世紀の国難災害 を乗り越えるレジリエンスとは ～防災統合知の構築戦略～」 主催団体：防災減災連携研究ハブ、 日本学術会議土木工学・ 建築学委員会 IRDR 分科会 ◎ ONLINE ◎

11月7日 日

		10:00-11:30	12:30-14:00	14:30-15:30
釜石市民ホール TETTO	ホール A	S03 どこで災害が起きても支援を届ける コーディネーション 主催団体：特定非営利活動法人 全国災害ボランティア支援団体 ネットワーク(JVOAD) ▶ LIVE REAL	S04 東日本大震災、これまでの10年、 これからの10年～伝承・教育の未来～ 主催団体：一般社団法人 日本損害保険協会 ▶ LIVE REAL	クロージング ▶ LIVE REAL
	ホール B	S08 防災・減災への新聞社の 取り組み・役割 主催団体：TEAM 防災ジャパンメディアチーム ▶ LIVE REAL	S09 これからの事業継続に 必要な要素 主催団体：特定非営利活動法人事業継続推進機構 ▶ LIVE REAL	
	スタジオ A	S10 災害文化の顕在化のこころみ ー日常の中に災害文化をよみとくー 主催団体：災害文化研究会 ▶ LIVE REAL		
釜石PIRT	多目的 集会室	S14 「いざという時どうなる？ あなたの食と栄養」vol.11 ～東日本大震災から学んだ食のチカラ～ 主催団体：公益財団法人 味の素ファンデーション ▶ LIVE REAL	S15 いのちを守る防災 CAMP 主催団体：一般社団法人 いのちを守る at プロジェクト JAPAN ▶ LIVE REAL	
	鳳凰(西)	S19 東日本大震災からの 復興支援を通じて得た知見・教訓と 今後の災害対応に向けて 主催団体：独立行政法人都市再生機構 ▶ LIVE REAL	S20 次世代に「つなげる」、SDGs・ジェンダー 視点を取り入れた中学生防災教育 主催団体：一般社団法人男女共同参画 地域みらいねっと ▶ LIVE REAL	
ホテルサンルート釜石	鳳凰(東)	S24 こどもが夢中になる防災学習 ～主体的・対話的深い学びの具体的展開～ 主催団体：株式会社明石スクールユニフォームカンパニー REAL	S25 市民を守る新しい公助のカたち、 共創で災害時のトイレ問題解決に挑む！ 主催団体：災害派遣トイレネットワーク 「みんな元気になるトイレ」 ▶ LIVE REAL	
	LINE1	S29 WAA ReSCue 発足記念シンポジウム 主催団体：WAA ReSCue 準備委員会 @ONLINE	S30 災害伝承ミュージアム・セッション vol.3 2021 災害への備えを啓発する 新たなチャレンジ(仮) 主催団体：阪神・淡路大震災記念 人と防災未来センター @ONLINE	
配信	LINE2	S34 地球観測による防災技術の最新動向と 衛星データの活用事例の紹介 主催団体：一般社団法人日本リモートセンシング学会 @ONLINE	S35 ナッジで人間のリアルを踏まえた 防災施策へ ～行動科学の視点から見た防災行動と事例紹介～ 主催団体：よんなな防災会ナッジユニット 行動防災チーム @ONLINE	
	LINE3	S39 集まれ！ 防災女性職員とその応援団 主催団体：内閣府男女共同参画局 @ONLINE		

事前登録が必要なワークショップもあります。また、資料のダウンロードなど、詳しくはホームページをご覧ください。

s-0s

LIVE REAL

オープニングセレモニー

主催団体：内閣府

11/6(土) 12:15 場所：釜石市民ホールホールA

開催地、いわて釜石からのオープニングセレモニー

<セレモニー紹介>

- 12:15～12:25 ○いのちをつなぐ未来館 オンラインツアー(動画配信)
- 12:27～12:52 ○八神純子氏のメッセージ&楽曲披露(LIVE配信のみ)
- 12:53～12:58 ○釜石商工高校による商工虎舞披露(動画配信)

S00

LIVE REAL

オープニング&オープニングディスカッション

主催団体：内閣府

11/6(土) 13:00 場所：釜石市民ホールホールA

オープニング

主催挨拶：二之湯 智 内閣府特命担当大臣(防災)
大塚 義治 防災推進国民会議 議長、
防災推進協議会 会長(日本赤十字社社長)

開催地挨拶：達増 拓也 岩手県知事
野田 武則 釜石市長



オープニングディスカッション

13:20

○東日本大震災の伝承と防災
・趣旨

東日本大震災の出来事や教訓を後世に伝え、次世代を担う子どもをメインターゲットにした防災学習施設である地元釜石市の「いのちをつなぐ未来館」の取組や伝承施設情報を分類整理して提供し、案内マップや標識を設置しネットワーク化する「3.11伝承ロード」の取組、(災害伝承の先進地である雲仙岳の取組)を通して、自然災害から得た教訓から何を学び、どのように次世代に伝えていくかを意見交換する。

[オープニングディスカッション登壇者]

- 川崎 杏樹 株式会社かまいし DMC 地域創生事業部
鶏住居トモス運営課、いのちをつなぐ未来館勤務
- 杉本 伸一 雲仙岳災害記念館館長
- 瀬戸 真之 東日本大震災・原子力災害伝承館 事業課 課長代理
福島大学客員准教授
- 田代 浩一 宮城県 復興・危機管理部 復興支援・伝承課 課長
(みやぎ東日本大震災津波伝承館における震災伝承展示の管理運営を所管する主務課長)
- 原田 吉信 (一財) 3.11伝承ロード推進機構事務局長



S01

LIVE REAL

一般向け 専門向け(学術界)

岩手・釜石の東日本大震災10年の活動に学び、熱のある多様なつながりをつくる

主催団体：TEAM 防災ジャパン

11/6(土) 10:30 場所：釜石市民ホールホールA

ぼうさいのお隣さんとながろう～岩手・釜石発、グラスルーツ活動とネットワーク化～(仮)

現地では、TEAM 防災ジャパン「ぼうさいのお隣さん」に出た岩手・釜石のみなさん、及びお世話係、アドバイザーが集合。活動報告とつながりの作り方について、パネルディスカッション、全国のみなさんとオンラインで意見交換を行う、草の根のつながりを広げる。TEAM 防災ジャパンアドバイザーの浅野、加藤、鍵屋らがファシリテーションを行う。

s-H

LIVE REAL

一般向け 自治体向け 専門向け(学術界)

ハイレベルセッション つながりが創る復興と防災力 ～東日本大震災の経験から～

主催団体：内閣府

11/6(土) 14:30 場所：釜石市民ホールホールA

■趣旨

大震災から10年。若手県をはじめとする東北被災地は、街の復興はもとより、住民の防災意識向上、復興の担い手の育成など、ハード・ソフトの両面から、「より良い復興」(Build Back Better)に取り組んできました。被災地の復興と防災力強化を担ってきた内外のリーダーたちをつなぎ、10年間の経験と未来のビジョンを語っていただきます。

[登壇者]

- 板橋 恵子 株式会社エフエム仙台 防災・減災プロデューサー
仙台市防災会議委員
- 岩崎 昭子 旅館 宝来館 女将 (一社) 根浜 MIND 代表理事
- 及川 善弥 三陸フィッシュベスト株式会社 代表取締役社長
- 神谷 未生 一般社団法人おらが大槌夢広場 代表理事
- 越谷 信 岩手大学理工学部教授 / 地域防災研究センター長
- 佐藤 摩利子 国連人口基金 駐日事務所長 釜石市地方創生アドバイザー
- 中川 優芽 富士宮市立富丘小学校 教諭 (防災教育担当)
- 野田武則 慶應義塾大学 SFC 研究所 上席所員
釜石市長
- 村上 威夫 内閣府 政策統括官(防災担当) 付 参事官(普及啓発・連携担当)



S02

LIVE REAL

自治体向け 専門向け(学術界)

災害廃棄物の処理

主催団体：公益財団法人 日本消防協会

11/6(土) 16:30 場所：釜石市民ホールホールA

災害廃棄物は、東日本大震災では、巨大津波も加わって、膨大な量が発生し、その後も各地で大量に発生しているが、災害廃棄物は、発災直後の被災者の生活維持にとって問題であるほか、早期の復旧復興を進めるうえでも重要な課題である。

そのため、東日本大震災発災後、地元の県、市町村は国と連携し、最大限の努力を尽くしたがその経験を活かしながら、より速やかな解決を図ることができるよう、関係の方々による討論を行う。

[登壇者]

- 室崎 益輝 兵庫県立大学大学院減災復興政策研究科長
- 吉岡 敏明 東北大学大学院環境科学研究所教授
- 舟山 重則 一般社団法人日本災害対応システムズ事務局長
- 佐々木 秀幸 岩手県環境生活部資源循環推進課総括課長
- 須田 恵理子 環境省 環境再生・資源循環局
災害廃棄物対策室 災害廃棄物対策官
- 秋本 敏文 公益財団法人日本消防協会会長



S03

LIVE REAL

自治体向け 企業向け

どこで災害が起きても支援を届ける コーディネーション

主催団体：特定非営利活動法人 全国災害ボランティア支援団体
ネットワーク(JVOAD)

11/7(日) 10:00 場所：釜石市民ホールホールA

「東日本大震災」以降、毎年のように広域で多発的な自然災害が起きています。その後、「熊本地震」を契機に被災地で復興支援にあたる行政、社会福祉協議会(社協)、民間による「三者連携」が進んできました。さらに、支援の「モレ、ムラ」をなくすため「三者連携」をベースとした多様な支援主体との連携を調整する、「災害支援コーディネーション」の重要性が増しています。当セッションでは、その重要性の理解を深めます。

[登壇者]

- 萩原 玲子 内閣府 政策統括官(防災担当)付
企画官(普及啓発・連携担当)
- 小川 耕平 社会福祉法人 全国社会福祉協議会
全国ボランティア・市民活動振興センター 副部長
- 葛巻 徹 いわてNPO災害支援ネットワーク(INDS) 共同代表
NPO法人いわて連携復興センター 代表理事
- 山田 幹夫 公益財団法人味の素ファンデーション(TAF)
シニアアドバイザー
- 法橋 華子 公益社団法人 セーブ・ザ・チルドレン・ジャパン
国内事業部プログラム・オフィサー
- 明城 徹也 全国災害ボランティア支援団体ネットワーク(JVOAD)
事務局長
- 吉田 仁美 全国災害ボランティア支援団体ネットワーク(JVOAD)
事業部



S05

REAL

一般向け 専門向け(学術界)

避難を! 命をあきらめない! 震災から生まれた 車いすの避難用具で、命を守る行動を!

主催団体：株式会社 JINRIKI

11/6(土) 10:30 場所：釜石市民ホール ホールB

セッションでは自治体(仮陸前高田市・仮名古屋市)、障がい者や団体(仮脊髄損傷者連絡会・仮日本身体障害者連合会)、介護事業者(参加者未定)等に登壇をお願いします。

屋外展示では車いすで障害物を乗り越える体験をして頂きます。

[登壇者]

- 岩鼻 千代美 釜石市 保健福祉部
地域福祉課 課長補佐
- 金野 義男 平田(へいた)どうもの会事務局長
- 村田 奈々 バラ水泳選手
- 小山 賢 グループホームやかた管理者
- 中村 正善 ㈱JINRIKI 代表取締役社長



S04

LIVE REAL

自治体向け 一般向け

東日本大震災、これまでの10年、 これからの10年～伝承・教育の未来～

主催団体：一般社団法人 日本損害保険協会

11/7(日) 12:30 場所：釜石市民ホールホールA

災害伝承と防災教育をテーマとしたパネルディスカッション
【テーマ】

- ・東日本大震災から10年を迎え、伝承・教育の進歩と課題を振り返る。
- ・これからの10年の災害伝承・防災教育の在り方を考える。
- ・地震保険などによる備えの重要性を考える。

[登壇者]

- 武田 真一 宮城教育大学特任教授/
3.11メモリアルネットワーク代表
- 桜井 愛子 東洋英和女学院大学 兼
東北大学災害科学国際研究所 教授
- 小松 則也 吉浜教への里プロジェクト事務局長/
大船渡市立猪川小学校教諭
- 菊池 のどか 株式会社8kurasu 防災教育推進担当
- 杉山 雅和 日本損害保険協会岩手損保会会長/
三井住友海上岩手支店長
- 甲斐谷 望 IBC 岩手放送アナウンサー



S06

LIVE REAL

一般向け

社会と東北大学が共につむぐレジリエントな世界

主催団体：株式会社 JINRIKI

11/6(土) 14:30 場所：釜石市民ホール ホールB

東北大学の災害科学国際研究所は、令和3年度から災害評価・低減、災害人文社会、災害医学の3つの研究部門と防災実践推進部門に組織を再編し、幅広い連携先と災害科学研究と、成果の社会での実践を強化しています。今回は、みやぎ防災・減災円卓会議のご協力が得て、研究成果の社会実装の取組みをご紹介します。登壇：防災・減災円卓会議武田真一氏、当研究所越村俊一教授、村尾修教授、佐藤翔輔准教授、丸谷浩明副所長。

S07

LIVE REAL

自治体向け 専門向け(学術界)

ラストワンマイルにいかにか、緊急支援物資を届けるか ～プッシュ型支援輸送を考える～

主催団体：一般財団法人危機管理教育 & 演習センター

11/6(土) 16:30 場所：釜石市民ホール ホールB

災害が多発する中で、緊急支援物資輸送において、肝心な物資が被災者に届けられないといったラストワンマイル問題に対して、いかに緊急支援物資を届けるか過去の災害事例の教訓を踏まえ、ボトルネックを抽出し、参加者からの意見もいただき改善案を検討し、効率的な「プッシュ型支援輸送」のあり方を検討します。

[登壇者]

- 国土交通省
- 国立研究開発法人海上・港湾・航空技術研究所
- 一般財団法人危機管理教育 & 演習センター

S08

LIVE REAL

一般向け 自治体向け

防災・減災への新聞社の取り組み・役割

主催団体：TEAM防災 ジャパンメディアチーム

11/7(日) 10:00 場所：釜石市民ホール ホールA

ニュースパーク(日本新聞博物館)が、今年開催した企画展「伝える、寄り添う、守るー『3・11』から10年」の展示や、被災3県だけでなく阪神大震災を地元で伝えた神戸新聞も参加したシンポジウムの内容を共有。当日は、地元の岩手日報や、南海トラフ地震に向き合う取り組みを続ける中日新聞、TEAM 防災ジャパンの福和伸夫、佐藤翔輔、中川和之のコーディネートで議論する。

[登壇者]

ニュースパーク(日本新聞博物館)

室崎 益輝 兵庫県立大学減災復興政策研究科長
川端 章子 岩手日報社釜石支局長
寺本 政司 中日新聞社名古屋本社編集局長
佐藤 翔輔 東北大学災害科学国際研究所准教授
福和 伸夫 名古屋大学減災連携研究センター教授
中川 和之 時事通信社解説委員



S10

LIVE REAL

一般向け 専門向け(学術界)

災害文化の顕在化のこころみ ー日常の中に災害文化をよみとくー

主催団体：災害文化研究会

11/7(日) 10:00 場所：釜石市民ホール ホールA

三陸沿岸には災害との闘いの中で生まれてきた「災害文化」がある。断片的な「教訓」が重層化し、生活様式や自然観という日常の中に埋め込まれて存在する災害(リスク)への対応の技術である。岩手県沿岸部の具体的事例(綾里小学校演劇『暴れ狂った海』・田老第一中学校震災体験と語り継ぎ・岩手大学合同授業「私の碑を作ろう」・方言の力)をもとに、災害文化の構造を示し、災害体験を現在・未来に活かす架け橋として提示する。

[登壇者]

山崎 友子 災害文化研究会世話人代表
熊谷 勳 元大船渡市立綾里小学校校長
佐々木 力也 元宮古市立田老第一中学校校長
田中 成行 岩手大学准教授
大野 眞男 岩手大学嘱託教授
山崎 憲治 元岩手大学教授
小室 祐人 災害文化研究会 学生会員、岩手大学三陸委員会こころより 委員



S09

LIVE REAL

企業向け 専門向け(学術界)

これからの事業継続に必要な要素

主催団体：特定非営利活動法人事業継続推進機構

11/6(土) 16:30 場所：釜石市民ホール ホールB

東日本大震災から10年が経過するなか、様々な災害や新型コロナによる需要蒸発、サイバー攻撃等に事業継続としての対応事例を交え、これからの事業継続に必要な要素について専門家や企業経営者により、リレー形式で情報提供させていただきます

[登壇者]

丸谷 浩明 東北大学災害科学国際研究所教授
細坪 信二 一般財団法人危機管理教育 & 演習センター 理事長
奥野 一三 株式会社奥野組 代表取締役
川村 丹美 アステラス製薬株式会社コーポレート・リスクマネジメント部 課長

S11

LIVE REAL

企業向け 自治体向け

我が国の災害対策力の向上の提案 ～東京大学の災害対策トレーニングセンター(DMTC)～

主催団体：東京大学大学院情報学環総合防災情報研究センター / 生産技術研究所附属 災害対策トレーニングセンター(DMTC)

11/6(土) 10:30 場所：釜石市民ホール PIT 会議室

今後の我が国の災害対策の方向性や考え方を踏まえ、なぜ、東京大学の災害対策トレーニングセンター(DMTC)は人材育成に着目しているのかをご説明します。また、教育プログラムの基本となる「基礎コース」の講義内容、災害対策の全体像を習得するための災害対応工程管理システム(BOSS)などを紹介します。災害対策に関する基礎知識や基本動作を紹介し、地域住民、企業の方から自治体の方まで一丸となった災害対策について提案いたします。

[登壇者]

目黒 公郎 東京大学生産技術研究所・情報学環・教授・DMTCセンター長
沼田 宗純 東京大学生産技術研究所・情報学環・准教授・DMTC副センター長

S12

LIVE REAL

自治体向け 専門向け(学術界)

防災分野へのドローン利用の最前線

主催団体：一般社団法人日本ドローンコンソーシアム

11/6(土) 14:30 場所：釜石市民ホール PIT 会議室

防災・災害状況把握へのドローン利用の最新状況を紹介すると共に、災害時のドローン利用・導入の実利用事例を紹介いたします。また、当該セッションでは、防災・災害状況把握に最前線で取り組む研究者・事業者が登壇し、事例を紹介させていただきます。特に、今年、静岡県熱海市で発生した土砂災害の事例や土砂災害へのドローン利用の取組みなどを紹介させていただきます。

[登壇者]

酒井 直樹 防災科学技術研究所 総括主任研究員
木下 篤彦 国土技術政策総合研究所 主任研究官
杉本 直也 静岡県 交通基盤部建設政策課 イノベーション推進班長
延 原肇 筑波大学 准教授
須田 信也 株式会社 WorldLink&Company 代表取締役社長



S13

LIVE REAL

一般向け

東日本大震災津波からの復興と地域防災力の強化 ～「防災を学習する場」としての岩手～

主催団体：岩手県

11/6(土) 16:30 場所：釜石市民ホール PIT会議室

これまでの復興の取組を進める過程で得られた教訓の伝承や、防災・減災の最先端地域としての三陸の姿を広く国内外に発信するため、復興防災に関わるテーマを分野別に設定し、トークセッションを実施する。本セッションを、これまでの復興の歩みや復興支援への感謝の想いを伝えるとともに、復興の先を見据えた「防災を学習する場」としての新しい岩手の姿を、世界に発信する。

【セッションの様子を同時通訳配信】

【登壇者】

戸館 弘幸 岩手県復興防災部長
南 正昭 国立大学法人岩手大学理工学部 教授
(地域防災研究センター兼任)
佐々木 雄治 根浜親交会 事務局長
林田 慎太郎 トヨタ自動車東日本株式会社 地域連携推進領域 領域長
菊池 のどか 株式会社8kurasu
津軽石 昭彦 関東学院大学法学部地域創生学科 教授



S14

LIVE REAL

一般向け 自治体向け

「いざという時どうなる？あなたの食と栄養」 vol.11 ～東日本大震災から学んだ食のチカラ～

主催団体：公益財団法人 味の素ファンデーション

11/7(日) 10:00 場所：釜石市民ホール PIT会議室

(1) 目的：食のチカラを活かした、個人と地域の自助・互助力の向上
(1) 内容：当財団の東日本大震災復興応援事業における参加型料理教室では、8年間半の活動の結果、食と栄養の意識・態度変容のみならず、個人のソーシャルキャピタル向上や地域コミュニティの再生に繋がったことが判明した。この結果を今後の防災や地域づくりにどの様に活かすべきか、栄養や防災の専門家と、地域に根差す食の支援者と一緒に議論を行う。

【登壇者】

加藤 孝明 東京大学生産技術研究所 教授、
東京大学社会科学研究所 特任教授、博士(工学)
新潟県立大学 人間生活学部健康栄養学科 教授
村山 伸子 いわて生活協同組合 組合員活動チーム チームリーダー
川村 公美 いわて生活協同組合 元東日本大震災支援活動担当
福土 久美子 いわて生活協同組合 組合員活動チーム 福祉活動担当
中村 弥生 公益財団法人 味の素ファンデーション (TAF)
齋藤 由里子 被災地復興応援事業 統括マネージャー



S15

LIVE REAL

一般向け 子供向け

いのちを守る防災 CAMP

主催団体：一般社団法人 いのちを守る at プロジェクト JAPAN

11/7(日) 16:30 場所：釜石市民ホール PIT会議室

防災パフォーマーによる「いのちを守る@防災劇場」
演技の途中に突然ストップ！会場の参加者は、防災ファンリテーターと一緒に「いのちを守る」為の最善のすべについて考えます。パフォーマンスとセミナーを融合させた、楽しみながら学べる世界初の新感覚防災セミナー「防災劇場」は全世代の方が一緒に防災について話し合う機会が生まれます。「目的いのちを守ること。守りたいのちで大切な人を守り生き抜くこと。」

S17

LIVE REAL

一般向け 自治体向け

台風・豪雨災害から日本の森林を守る 自伐型林業の可能性

主催団体：NPO法人持続可能な環境共生林業を実現する自伐型林業推進協会

11/6(土) 14:30 場所：ホテルサンルート釜石 鳳凰西

近年の台風豪雨による山林の土砂災害では、集落にも土石流が押し寄せ、人命も失われる大被害が発生し、弊団体では専門家とともに林業施業と土砂災害の関連について調査してきた。セッションでは、被災地調査結果を報告し、防災・森林保全効果を高める自伐型林業の意義、地域防災の担い手としての林業者の育成手法、政策実装方法等について議論する。中嶋健造(自伐協代表理事)、高田宏臣(地球守代表)、若手林業者他が登壇予定。

S16

LIVE REAL

一般向け 専門向け(学術界)

地域防災の担い手やジオガイドが徹底質問 「地震のこと、語れるまで教えて」

＝どこまで分かった東北地方太平洋沖地震、何が分かっていない日本海溝・千島海溝や南海トラフの地震

主催団体：公益社団法人日本地震学会

11/6(土) 10:30 場所：ホテルサンルート釜石 鳳凰西

地震学会の第一線の専門家が、地域で地震を伝える側になる地域防災の担い手やジオガイド向けにプレゼン動画を作成。日本ジオパークネットワークと連携し、各地のジオガイドが事前に解説動画を見て、分からないところや、普段からの疑問点を事前に質問します。もちろん一般参加の事前質問も大歓迎、当日聞くだけでもOKです。一方的な説明ではなく、皆さんが「分からないところ」を納得するまで、できる限り質問に答えます。

【登壇者】

小原 一成 公益社団法人日本地震学会会長
青井 真 防災科学技術研究所地震津波火山ネットワークセンター長、
南海トラフ海底地震津波観測網整備推進本部副本部長
松澤 暢 東北大学大学院理学研究科教授
杉本 伸一 雲仙岳災害記念館館長
中川 和之 時事通信社解説委員



S18

LIVE REAL

一般向け 自治体向け

わたし、防災には関心がありません！

主催団体：アールシーソリューション株式会社

11/6(土) 16:30

場所：ホテルサンルート釜石 鳳凰西



目黒星美学園は、生徒が自ら防災の課題を洗い出し解決策を考える防災教育に取り組んでいます。アールシーソリューションには、毎年、防災の仕事をしたと希望する学生が入社します。でも、若い人の多くは防災には関心がありません。防災の大切さが訴えられているはずなのに、関心を持つ人、持たざる人に別れてしまうのはなぜでしょうか？事例を交えて、若い人に防災に興味を抱いてもらうためのヒントを探ります。予定パネリスト
京百合子(目黒星美学園中学高等学校 教諭(生徒教育部 防災係))
大本凜(アールシーソリューション株式会社 事業推進室(「ゆれくる遊撃隊」担当))
※目黒星美学園中学高等学校の生徒たちもビデオで参加します。

S19

LIVE REAL

自治体向け 専門向け(学術界)

東日本大震災からの復興支援を通じて得た知見・教訓と今後の災害対応に向けて

主催団体：独立行政法人都市再生機構

11/7(日) 10:00 場所：ホテルサンルート釜石 鳳凰西

UR都市機構は、東日本大震災の復旧・復興支援を全力で推進してきました。今回は、東日本大震災におけるこれまでの復旧・復興支援経験から得られた教訓等を自治体の方向けにご紹介し、今後の災害対応にむけて得られた教訓等をどのようにつないでいくのかについて、有識者も交えたパネルディスカッションを行います。

[登壇者]

大沢 昌玄 日本大学理工学部土木工学科 教授
 大谷 英基 UR都市機構 震災復興支援室 事業管理課長
 小田島 永和 UR都市機構 岩手・宮城震災復興支援本部 市街地整備部 調整役
 松本 悟 UR都市機構 災害対応支援室 事業支援課長



S20

LIVE REAL

一般向け 自治体向け

次世代に「つなげる」、SDGs・ジェンダー視点を取り入れた中学生防災教育

主催団体：一般社団法人男女共同参画地域みらいねっと

11/7(日) 12:30 場所：ホテルサンルート釜石 鳳凰西

地域の高齢化が進む中、防災を持続可能な活動として続けるためには、地域と小中学校の児童生徒や保護者、教員等が防災拠点である小中学校を中心に連携し防災に取り組むことが地域防災力の向上につながる。この10年間で20,000人以上を対象に研修等を手掛けている当社代表理事が青森市中学校で取り組んだ「ジェンダー視点の中学生防災教育プログラム」の紹介と共に次世代に「つなげる」ための若年層対象の取り組みについて報告します。

[登壇者]

小山内 世喜子 一般社団法人男女共同参画地域みらいねっと代表理事
 工藤 健 原別地域まちづくりを進める会副会長



S21

LIVE REAL

自治体向け 一般向け

令和新時代の民間防災～自助・共助の新たな視点～

主催団体：特定非営利活動法人日本防災士会

11/6(土) 10:30 場所：ホテルサンルート釜石 鳳凰東

セッションテーマ：「令和新時代の民間防災～自助・共助の新たな視点」
 開講挨拶：室崎益輝・日本防災士会理事長
 基調講演：廣井悠・東京大学大学院教授
 防災士による活動事例発表（千葉県、富山県の防災士2名）
 現地会場でのセッション(基調講演・防災士活動事例発表)をオンライン(Zoom)配信

[登壇者]

室崎 益輝 日本防災士会理事長 兵庫県立大学防災教育研究センター長
 神戸大学名誉教授
 廣井 悠 東京大学大学院工学系研究科教授
 佐伯 邦夫 特定非営利活動法人日本防災士会理事長
 特定非営利活動法人富山県防災士会理事長
 平山 優子 1 特定非営利活動法人日本防災士会理事長
 千葉県防災士連絡会理事
 船橋 SL ネットワーク理事、船橋市応急手当指導員



S22

LIVE REAL

自治体向け 企業向け

その気づきが、みんなを守る～災害リスクと事業継続への備え～

主催団体：中小企業庁 事業環境部 経営安定対策室

11/6(土) 14:30 場所：ホテルサンルート釜石 鳳凰東

事業継続力を高めるために、自社の事業所がある地域がどのような災害リスクがあるのか、風水害や地震、感染症等に備えてどのような対策をすればいいのか、中小企業等が気づき、行動を起こす一助となるような講演を行う。具体的には、事業者の被災時の事例を紹介し、事業継続力強化のポイント解説や、「防災×ICT(AI)」をテーマとしたパネルディスカッションを通じて、防災力の向上を図る。

[登壇者]

藤井 大輔 株式会社 JX 通信社 FASTALERT 事業責任者
 津田 裕大 株式会社 Resilire 代表取締役
 越村 俊一 株式会社 RTi-cast 最高技術責任者
 渡邊 美信 株式会社中山鉄工所 営業部部長 (企画開発担当)
 福泉 裕 中小機構 中小企業アドバイザー (経営支援)



S23

LIVE REAL

自治体向け 一般向け

岩手大学地域防災フォーラム：学校教育現場における防災教育・活動の融合と実質化

主催団体：岩手大学地域防災研究センター

11/6(土) 16:30 場所：ホテルサンルート釜石 鳳凰東

学校防災には、児童・生徒たちの防災に関する防災教育、教員自身の防災に関する知識・知見・ノウハウの深化および学校運営における防災活動がある。本セッションでは、実例を学びながら、これらを融合した実践的な学校防災活動を考える。講演者は、村山良之(山形大学)、森本晋也(文部科学省)、桜井愛子(東洋英和女学院大学)、司会進行は越谷信(岩手大学)が行う予定である。

[登壇者]

村山 良之 山形大学大学院教育実践研究科教授
 桜井 愛子 東洋英和女学院大学国際社会学部 兼 東北大学災害科学国際研究所(クロスアポイント)教授
 森本 晋也 文部科学省総合教育政策局安全教育調査官 / 岩手大学地域防災研究センター客員教授
 越谷 信 岩手大学理工学部教授 / 地域防災研究センター長



S24

REAL

一般向け 学生向け

こどもが夢中になる防災学習 ～主体的・対話的深い学びの具体的展開～

主催団体：株式会社明石スクールユニフォームカンパニー

11/7(日) 10:00 場所：ホテルサンルート釜石 鳳凰東

【内容】子どもたちが災害時に主体的に臨機応変に対応できる能力を身につけるための「防災教育・教材」についてのディスカッションを行います。
【想定パネリスト】①前林 清和 先生（神戸学院大学現代社会学部社会防災学科・教授）②東北地方の学校の教職員の方 ③明石 SUC 防災アドバイザー（社内資格を有した社員）※3～4名を想定
【対象】学校の教職員、一般者を対象に案内します。

【登壇者】

前林 清和 神戸学院大学 現代社会学部 社会防災学科・教授
諏訪 清二 防災教育学会会長 / 兵庫県立大学特任教授（大学院減災復興政策研究科）
東館 拓也 宮城県多賀城高等学校 災害科学科長
榊原 隆 株式会社明石スクールユニフォームカンパニー スクール第二販売部部長



S27

LIVE

一般向け 自治体向け

防災教育と災害伝承

主催団体：防災学術連携体・日本学術会議

11/6(土) 14:30 配信：オンライン LINE1

2011年東北地方太平洋沖地震により引き起こされた大災害：東日本大震災発災から十年が経過した。この多くの犠牲を受けた災害から得た教訓を、東北と日本の今後の安全な社会実現のために活かしていく必要がある。本セッションでは、釜石市における災害伝承に関する経験をお話いただくとともに、この十年間の経験と教訓を踏まえ、今後の防災教育と災害伝承のあり方、および進めるべき取組みについて、学術分野から発信する。

【登壇者】

米田 雅子 日本学術会議防災減災学術連携委員会委員長、東京工業大学特任教授
加藤 孔子 釜石市のちをつなぐ未来館名誉館長、岩手大学教育学研究科【教職大学院】特命教授、大震災かまいたしの伝承者、北九州市防災・減災教育推進アドバイザー
西澤 泰彦 日本建築学会・建築歴史意匠委員会委員、名古屋大学教授、建築史学会会長
柳谷 理紗 仙台市役所、地域安全学会会員
田中 聡 常葉大学教授、地域安全学会副会長
姥浦 道生 東北大学大学院工学研究科教授
岡谷 隆基 日本地図学会常任委員・編集委員長、国土交通省国土地理院地理地殻活動研究センター測量新技術研究官
山川 充夫 日本学術会議連携会員、福島大学名誉/客員教授、日本地域経済学会長
戸田 芳雄 日本安全教育学会理事長、全国学校安全教育研究会特別顧問、明海大学客員教授
大友 康裕 防災学術連携体代表幹事、日本災害医学会代表理事、厚生労働省日本 DMAT 検討委員会委員長、東京都災害医療コーディネーター、東京医科歯科大学救急災害医学分野教授
田村 和夫 日本学術会議連携会員、防災学術連携体事務局長、神奈川大学客員教授



S25

LIVE REAL

企業向け 自治体向け

市民を守る新しい公助のカタチ、 共創で災害時のトイレ問題解決に挑む！

主催団体：災害派遣トイレネットワーク「みんな元気になるトイレ」

11/7(日) 12:30 場所：ホテルサンルート釜石 鳳凰東

●共創、コレクティブインパクトでの防災・減災の必要性を提起。
●共創事例として、災害時に深刻化するトイレ問題の解決に取り組む、災害派遣トイレネットワークプロジェクト「みんな元気になるトイレ」を紹介。
●支援実績および実車も展示、全国の自治体へ災害派遣トイレネットワークへの加盟を呼びかけます。

【登壇者】

①富士市長 小長井 義正、②名古屋大学 減災連携研究センター 教授 福和 伸夫、③君津市長 石井 宏子、④篠栗町長 三浦 正

S26

ONLINE

企業向け 自治体向け

土砂災害VRやマイ・タイムラインなどを活用した効果的な防災教育のあり方について

主催団体：広島県

11/6(土) 10:30 配信：オンライン LINE1

災害を自分ごととして認識するとともに、地域全体での防災力向上を図るための、効果的な防災教育のあり方について、参加団体の取組紹介及びディスカッションを実施。

【パネリスト】広島大学 海堀正博特任教授、後藤秀昭准教授、広島県 伊達マイ・タイムライン推進員、京久野土砂災害警戒推進担当監、海田町立海田南小学校 西岡校長、広島大学附属小学校 野元教諭、ソフトバンク(株) 増原参与、東谷担当部長、南京極技術部長

トピック：土砂災害VRやマイ・タイムラインなどを活用した効果的な防災教育のあり方について

【登壇者】

海堀 正博 広島大学防災・減災研究センター長・特任教授（専門：砂防学）
後藤 秀昭 広島大学大学院人間社会科学研究科准教授（博士（文学））
伊達 富美 広島県危機管理監みんなで減災推進課 ひろしまマイ・タイムライン推進員
京久野 涉 広島県土木建築局砂防課 土砂災害警戒推進担当監
西岡 律子 海田町立海田南小学校 校長
野元 祥太郎 広島大学附属小学校 教諭（社会科）
増原 伸 ソフトバンク株式会社コーポレート統括 CSR 本部 参与（中国担当）
東谷 次郎 ソフトバンク株式会社ソリューションエンジニアリング本部 担当部長
南京極 巧 ソフトバンク株式会社 5G&IoTエンジニアリング本部中国 IoT 技術部



S28

※ONLINE※

自治体向け 専門向け(学術界)

3者連携の必要性和平時からの備え ～東日本大震災・台風被害を経験した 岩手だからこそ伝えたいこと～

主催：特定非営利活動法人いわて連携復興センター、
いわてNPO災害支援ネットワーク
共催：岩手県、社会福祉法人岩手県社会福祉協議会

11/6(土) 16:30 配信：オンラインLINE1

■地域の3者連携の事例紹介

＜地域の事例 登壇者＞
社会福祉法人岩手県社会福祉協議会 地域福祉企画部長兼ボランティア・
市民活動センター所長 齊藤 稔 氏
岩手県地域福祉部地域福祉課 生活福祉担当課長 長谷川克信 氏
いわてNPO災害支援ネットワーク 共同代表 葛巻 徹

■市町村域の3者連携の事例紹介

＜岩泉の事例 登壇者＞
岩泉町危機管理課 危機管理監兼課長 佐々木重光 氏
特定非営利活動法人クチェカ 事務局長 鈴木悠太 氏
＜釜石の事例 登壇者＞
社会福祉法人釜石市社会福祉協議会 地域福祉課長兼生活ご安心センター
(副センター長) 菊池亮 氏
一般社団法人三陸ひとつなぎ自然学校 代表理事 伊藤聡 氏
＜全体コーディネーター＞
特定非営利活動法人全国災害ボランティア支援団体ネットワーク (JVOD)
代表理事 栗田暢之 氏

S31

※ONLINE※

自治体向け 一般向け

地区防災計画の更なる可能性を考える

主催団体：内閣府防災担当 普及啓発・連携担当

11/6(土) 10:30 配信：オンラインLINE2

自然災害が頻発化・激甚化していることに加えて、南海トラフ地震などの巨大地震の発生も危惧されている中で、災害に立ち向かい、乗り越えるためには、避難や避難生活などにおいて、お互いに助け合う「共助」の力を促進することが必要不可欠です。このため、内閣府防災担当では、住民などが自発的に防災活動を推進し、「共助」による防災力の向上を図る「地区防災計画制度」を推進しています。

今回のセッションでは、“防災だけではなく、他の視点も取り入れた計画づくり”や“住民以外の主体による計画づくり”について紹介いただき、地区防災計画の更なる可能性について考えます。

【登壇者】

加藤 孝明 東京大学 生産技術研究所 教授/同社会科学研究所 特任教授
鍵屋 一 跡見学園女子大学 教授
阪本 真由美 兵庫県立大学 減災復興政策研究科 教授
野毛 貴登 株式会社土肥館 代表取締役
上野 慎也 株式会社シミズ・ビルライフケア BM 事業本部
北海道営業所副所長
中嶋 利隆 大手町・丸の内・有楽町地区まちづくり協議会
エリア防災推進委員会委員長



S32

※ONLINE※

企業向け 自治体向け

災害時における情報共有

主催団体：公益社団法人 日本医師会

11/6(土) 14:30 配信：オンラインLINE2

速やかな被災地内外での組織的な支援活動には、ICTを活用した情報共有は不可欠である。近年では、様々な情報共有ツールの研究や整備が進み、実災害でも活用されている。日本医師会では、2013年にJAXAと協定を結ぶなど、関係事業者とともに災害時の情報通信訓練を実施してきており、情報共有体制を常に見直してきた。このセッションでは、日本医師会が構築している情報共有ツールについて、関連事業者とともに紹介する。

【登壇者】

近藤 久禎 一般社団法人日本災害医学会 庶務担当理事
加藤 良平 株式会社ケアレビュー 代表取締役
桐谷 浩太郎 国立研究開発法人宇宙航空研究開発機構
第一宇宙技術部門 衛星利用運用センター 主幹研究開発員
瀬尾 淳 スカパーJSAT株式会社 宇宙・衛星事業本部 法人事業部 専任部長
加陽 直実 一般社団法人 静岡県医師会 理事
中川 俊男 公益社団法人 日本医師会 会長
猪口 雄二 公益社団法人 日本医師会 副会長
長島 公之 公益社団法人 日本医師会 常任理事



S29

※ONLINE※

企業向け 自治体向け

WAA ReSCue 発足記念シンポジウム

主催団体：WAA ReSCue 準備委員会

11/7(日) 10:00 配信：オンラインLINE1

●発足宣言 WAA ReSCue リーダー 島田由香

1) 基調講演 「災害支援はコレクティブインパクトの時代へ」 *講師：
東京大学教授 目黒公郎
2) パネルディスカッション

*パネリスト：東京大学教授 目黒公郎、熊本県副知事 木村敬、KVOAD 代表
樋口 務、助けあいジャパン代表 石川淳哉、TeamWAA! 代表 島田由香



S30

※ONLINE※

一般向け 専門向け(学術界)

災害伝承ミュージアム・セッション vol.3 2021 災害への備えを啓発する新たなチャレンジ

主催団体：阪神・淡路大震災記念 人と防災未来センター

11/7(日) 12:30 配信：オンラインLINE1

このセッションは、全国の災害伝承ミュージアムをつなぎ、互いの活動へのフィードバックと、協働の模索等に活かすことを願い、情報交換をします。第一部では、全国から選抜された複数施設から、長く続くコロナ禍においての施設運営の取り組みなどを含み、最新の取り組みをプレゼンテーションしていただきます。また第二部では、有識者等によるショートレクチャー、各施設への質問の投げかけなどを通し、テーマの深く掘り下げるとともに、今後の展望等について議論してまいります。全国でミュージアム施設や、防災・減災の啓発に関わる方はもちろん、広く一般の方に是非、ご参加いただければ幸いです。

【登壇者】

川崎 杏樹 いのちをつなぐ未来館 (岩手県釜石市)
伊藤 崇宏 みやぎ東日本大震災津波伝承館 (宮城県石巻市)
筑波 匡介 福島県立博物館 (福島県会津若松市)
丸山 浩司 東京臨海広域防災公園そなエリア東京 (東京都江東区)
筆保 慶一 阪神・淡路大震災記念 人と防災未来センター (兵庫県神戸市)
米山 正幸 北淡震災記念公園 (兵庫県淡路市)
東山 陽次 雲仙岳災害記念館 (長崎県島原市)
澤田 雅浩 兵庫県立大学大学院 減災復興政策研究科 准教授
川西 勝 読売新聞大阪本社編集委員、人と防災未来センター・リサーチフェロー
平林 英二 阪神・淡路大震災記念 人と防災未来センター 運営課企画ディレクター



S33

ONLINE

企業向け 自治体向け

震災廃棄物(コンクリート構造物を大割で解体したブロック(シティコンと呼ぶ))を利用した海の食料増産

主催団体：特定非営利活動法人東京いのちのポータルサイト

11/6(土) 16:30 配信：オンラインLINE2

当NPOでは、巨大地震で被災する膨大なコンクリート構造物を新たな基準に沿って迅速に大割で解体し、海の生態系を活性化する人工海底山脈の材料として有効利用する事で、海の食料増産に貢献すると共に、早期復興を支援する。今大会では、この新たな取組みをそれぞれの専門の立場で発表し討論します。



<パネリスト>

- 高橋正征 東京大学名誉教授、高知大学名誉教授、(公財)日本科学協会会長、(公社)日本水産資源保護協会会長
- 大迫浩 国立環境研究所資源循環領域 領域長
- 有川太郎 中央大学 教授、博士(工学)
- 武田真典 水産土木建設技術センター上席研究員
- 西川智 名古屋大学減災連携研究センター教授
- 鈴木達雄 シティコン海底山脈研究会代表
- 古本聡 株式会社土屋 取締役・最高文化責任者、土屋総研所長
- <討論司会> 中林一樹 東京都立大学名誉教授・首都防災ウィーク実行委員会委員長

S34

ONLINE

自治体向け 一般向け

地球観測による防災技術の最新動向と衛星データの活用事例の紹介

主催団体：一般社団法人日本リモートセンシング学会

11/7(日) 10:00 配信：オンラインLINE2

地域防災力向上の重要性が再認識される中、ハザードマップの有効な利用が模索されています。しかし日々刻々と変化していく地域情報までをリアルタイムに把握し地域防災を検討する際の材料として扱うことは困難です。そこで本セッションでは、衛星データから罹災域とその現況を把握するところから一歩話を進め、衛星データから作成される地表面の情報を避難に活用してゆく最新技術や実務事例を紹介します。

[登壇者]

- 作野 裕司 広島大学 准教授
- 大木 真人 JAXA 主任研究開発員
- 伊東 明彦 日本リモートセンシング学会 事務局長補佐
- 石内 鉄平 宮城大学 准教授

S35

ONLINE

自治体向け 専門向け(学術界)

ナッジで人間のリアルを踏まえた防災施策へ～行動科学の視点から見た防災行動と事例紹介～

主催団体：よんなな防災会ナッジユニット 行動防災チーム

11/7(日) 12:30 配信：オンラインLINE2

目的：現実的な人間像を前提に自発的な行動変容を促す手法「ナッジ」について、定義、意義、活用方法、世界中での活用事例、防災分野での応用可能性について発表する。

対象：防災行動の促進に関わる行政、民間、学術及び地域の関係者

[登壇者]

- 竹 順哉 よんなな防災会発起人
- 永井 宏昭 よんなな防災会
- 植竹 香織 ポリシーナッジデザイン合同会社代表



S36

ONLINE

専門向け(学術界)

災害と先端技術 - そこにAI(愛)はありますか -

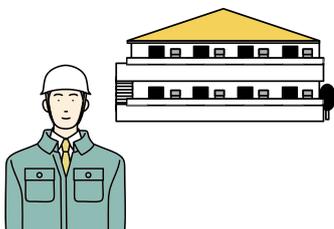
主催団体：一般社団法人 DroneAI 技術研究機構

11/6(土) 10:30 配信：オンラインLINE3

「より多くの命をいかに守るか」それが私たちの挑戦です。特に、お年寄りやお子様、そしてフィジカルチャレンジをされている方への「逃げるを助ける技術」について一緒に考えていきましょう。

[登壇者]

- 田口 政行 防災研究者(教育) 研究員
- 藤重 裕 理事長 研究者(学者)



S37

ONLINE

一般向け 専門向け(学術界)

災害体験を語り継ぐ意味

主催団体：防災教育学会

11/6(土) 14:30 配信：オンラインLINE3

近年の台風豪雨による山林の土砂災害では、集落にも土石流が押し寄せ、人命も失われる大被害が発生し。弊団体では専門家とともに林業施業と土砂災害の関連について調査してきた。セッションでは、被災地調査結果を報告し、防災・森林保全効果を高める自伐型林業の意義、地域防災の担い手としての林業者の育成手法、政策実装方法等について議論する。中嶋健造(自伐協代表理事)、若手林業者他が登壇予定。

[登壇者]

- 長谷川 元気 語り部 KOBE1995]
- 岸本 くるみ 神戸学院大学現代社会学部社会防災学科
- 久保 力也 株式会社 8kurasu 代表取締役
- 菊池 のどか 株式会社 8kurasu 防災教育推進担当
- 諏訪 清二 防災学習アドバイザー・コラボレーター



S38

ONLINE

自治体向け 一般向け

主体的に防災活動ができるようになる環境づくり

主催団体：清流の国ぎふ 防災・減災センター

11/6(土) 16:30 配信：オンライン LINE3

当センターは県と大学の特性を併せ持つことが特徴で、そこに防災人材も加わって日々協議を重ねています。その結果、市町村、学校等でのセンターの活用、地域人材の有機繋がりが増えてあります。本セッションでは、これまでの取り組みや、市町村・学校・地域とどのような関係を作ってきたか紹介し、関係団体からセンターがどのように見られているか、活用のポイント、環境を構築するために必要なことについて対話を行います。

【登壇者】

- 能島 暢呂 岐阜大学工学部教授
- 高木 朗義 岐阜大学社会システム経営学環教授
- 岩井 慶次 日本防災士会理事 岐阜県支部長
- 伊藤 三枝子 清流の国ぎふ女性防災士会 会長
- 岩茸 伸一 高山市民防災研究会 会長
- 岩垣津 信太郎 岐阜県防災課 主任
- 今井 亮 下呂市 市長公室危機管理課 主査

S39

ONLINE

自治体向け

集まれ！ 防災女性職員とその応援団

主催団体：内閣府男女共同参画局

11/7(日) 10:00 配信：オンライン LINE3

地方公共団体、省庁等の防災・男女共同参画・その他災害対応に関わる部局の職員、地域の防災リーダー、防災士等を対象に、実際の災害発生時の行政職員の対応に関する事例紹介と、3つのテーマ「①防災 x 行政女性職員」「②防災 x 子育て・介護」「③防災 x 男女共同参画 x 福祉」でそれぞれワークショップを行い、防災女性職員とその応援団で組織を超えてつながります。

【登壇者】

- 林 伴子 内閣府男女共同参画局 局長
- 内田 欽也 内閣府大臣官房審議官 (防災担当)

よんなな防災会女子部



S40

ONLINE

専門向け(学術系)

公開シンポジウム「21世紀の国難災害を乗り越えるレジリエンスとは～防災統合知の構築戦略～」

主催団体：防災減災連携研究ハブ、日本学術会議土木工学・建築学委員会 IRDR 分科会

11/6(土) 16:30 配信：オンライン LINE4

南海トラフ地震、首都直下地震など巨大災害の発生は切迫しており、地球規模の気候変動により、豪雨等による水害の発生リスクも高まっている。こうした国難級リスクに適切に備え、被害の軽減並びに早期の回復を図るためには、既存の学問分野の枠組みに囚われず、人文社会科学も含めた「総合知」により立ち向かう必要がある。他分野で活躍する日本を代表する研究者らによって、その構想や戦略について討議する。

【登壇者】

- 林 春男 国立研究開発法人防災科学技術研究所理事長、IRDR 分科会委員長
- 永松 伸吾 国立研究開発法人 防災科学技術研究所 災害過程研究部門 部門長
- 越村 俊一 東北大学災害科学国際研究所教授
- 宮本 守 国立研究開発法人土木研究所水災害・リスクマネジメント国際センター 研究員
- 大西 正光 京都大学防災研究所巨大災害研究センター准教授
- 荒木 裕子 名古屋大学減災連携研究センター特任准教授
- 井ノ口 宗成 国立研究開発法人防災科学技術研究所主幹研究員 / 富山大学都市デザイン学部准教授
- 川崎 昭如 東京大学特任教授、未来ビジョン研究センター グローバル・コモンズ・センター
- 小池 俊雄 国立研究開発法人 土木研究所 (PWRI) 水災害・リスクマネジメント国際センター (ICHARM)



S00

LIVE REAL

クロージング

11/7(日) 14:30 場所：釜石市民ホール ホール A

【クロージングセレモニー】

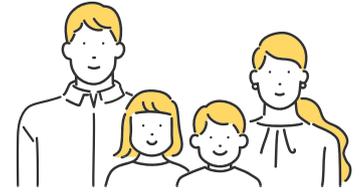
釜石東中学校 全校生徒による合唱
夢団～未来へつなげる ONE TEAM～(釜石高校生有志) & 市川淳子(釜石市防災市民憲章制定市民会議 代表幹事)

【閉会挨拶】

- 秋本 敏文 防災推進国民会議副議長 日本消防協会会長
- 越谷 信 岩手大学理工学部教授 / 地域防災研究センター長
- 佐々木 修 防災推進協議会運営委員会委員長 日本損害保険協会業務企画部長
- 藤原 俊平 兵庫県防災監
- 大野 敬太郎 内閣府副大臣 (防災担当)



ワークショップ



事前登録が必要なワークショップもあります。また、資料のダウンロードなど、詳しくはホームページをご覧ください。

W01

REAL

子供向け 一般向け

おいしい防災塾
防災お菓子ポシエット作りと防災講話

主催団体：一般社団法人おいしい防災塾

11/6(土) 10:30 場所：釜石市民ホール スタジオA

対象 4歳児以上の親子（家族全員でご参加可能）
時間 60分 / 参加費無料 10:30～11:30
限定 防災お菓子ポシエットを作成するお子様10人限定
参加者持ち物：筆記具・マスキングテープ・はさみ
予約方法：現地 釜石市民ホール TETTO スタジオAにて10:00～
お子様10人になり次第締め切りします。

W02

REAL

自治体向け 一般向け

段ボールジオラマ防災授業

主催団体：日本たばこ産業株式会社

11/6(土) 14:30 場所：釜石市民ホール スタジオA

段ボール製のパーツを組み立てていくことで、居住エリアの地形を立体的に再現したジオラマを製作。それをもとに地域の浸水・土砂災害リスクを参加者自らが考えるワークショップを実施することで、防災意識の向上と、自分の命は自分で守ること（自助）を身に付ける機会とする。

W03

REAL

子供向け 一般向け

防災・減災スタンプラリー！
～みんなで話して考えよう～

主催団体：東北大学災害科学国際研究所
地震津波リスク評価（東京海上日動）寄附研究部門

11/6(土) 16:30 場所：釜石市民ホール スタジオA

防災・減災スタンプラリーは、子供から大人まで楽しく学べる「生きた防災教育」です。津波が来た時に危ない場所はどこな所？いま、大津波が来たらどれくらい被害が出るの？といった疑問に、直感的に理解できる答えを世界最先端の研究現場からお届けします。教育現場や自治体で防災に携わる方から家族の安全を願う皆様まで、幅広い方々に御参加頂き、一緒に防災・減災について考える場となることを目的としています。

W04

REAL

子供向け 一般向け

身近なもので楽しく防災ワークショップ

主催団体：公益財団法人ボーイスカウト日本連盟

11/6(土) 14:30 場所：釜石市民ホール 会議室2

ボーイスカウトは、イオンモールとの共催により全国60会場以上で「全国防災キャラバン」を展開しています。今回のワークショップでは、防災キャラバンでも行っている、ビニール袋や新聞紙など身近にあるものを使った防災ワークショップを展開することで、参加する子どもたちやその家族が楽しく防災を身近に感じてもらうことを目指します。ワークショップの運営は、岩手県内にいるボーイスカウトの青少年が行います。

W05

REAL

子供向け 一般向け

自然災害のさまざまな“目安”を実験する

主催団体：認定NPO法人 防災・減災サポートセンター

11/6(土) 16:30 場所：釜石市民ホール 会議室2

自然災害が起きたり、起きそうときには、様々な情報が飛び交います。そのなかで、私たちは正確な情報の判断や、内容を理解して適切な行動をしなければなりません。いつも災害に関心を持ちつつ、災害時には、先を読んで行動することをしないと、思わぬ事故や被害を受けるといことになります。そのためには、何気なく聞いていたことを、イメージ化して理解することが大事なことになります。演目は、5つを予定します。

W06

LIVE REAL

学生向け 一般向け

防災クイズ&ゲームワークショップ
in ぼうさいこくたい2021オンライン

主催団体：一般社団法人防災教育普及協会

11/7(日) 10:00 場所：釜石市民ホール 会議室2

- 目的：多様な防災教育教材の具体的な活用方法や事例等について、現地及びオンラインで体験してもらう。
- 対象：小学生以上。
- 出展内容：現地及びオンラインでの防災教育教材の紹介及び体験。

W07

LIVE REAL

子供向け 一般向け

『あでやか切り絵』ワークショップ

主催団体：一般社団法人あでやか切り絵協会

11/6(土) 10:30 場所：ホテルサンルート釜石 桐

自然災害が起きたり、起きそうときには、様々な情報が飛び交います。そのなかで、私たちは正確な情報の判断や、内容を理解して適切な行動をしなければなりません。いつも災害に関心を持ちつつ、災害時には、先を読んで行動することをしないと、思わぬ事故や被害を受けるといことになります。そのためには、何気なく聞いていたことを、イメージ化して理解することが大事なことになります。演目は、5つを予定します。

W08

LIVE REAL

子供向け 一般向け

自分とペットの避難を考えるそれぞれの形を見つけよう

主催団体：ペット防災サポート協会

11/6(土) 16:30 場所：ホテルサンルート釜石 桐

団体オリジナルのペット防災ノート「たすかるノート With Pet」を使ってペット同行避難、同伴避難、備え、準備等についての理解を深めるペット防災講座を行った後、ご参加の皆様にはペットと避難所へ行く、他の所へ分散避難する、在宅避難をする等の想定をそれぞれノートに記入してもらいます。その後グループ内で各自発表し、全体でもグループごとに発表して新しい発見に繋がってもらいます。こちらを会場とオンラインの両方で行います。

W09

REAL

子供向け 一般向け

防災クイズで学ぼう・体験しよう!

主催団体: 防災専門図書館 (公益社団法人 全国市有物件災害共済会)

11/7(日) 10:00 場所: ホテルサンルート釜石 桐

防災クイズに挑戦するイベントを開催します。内容は、防災専門図書館オリジナル「防災いろはかるた」を用いたクイズ・体験等を行います。例えば、防災かるた「ツナ缶に灯をとます」をもとにしたクイズ:「ツナ缶に○をとます。○に入るのは何でしょうか?」。回答とともに、ツナ缶を使った防災グッズの解説をします。

W10

LIVE REAL

一般向け

大地の成り立ちから知る防災のヒント

主催団体: 日本ジオパークネットワーク

11/7(日) 12:30 場所: ホテルサンルート釜石 桐

ジオパークネットワークでは、災害を伝え身を守る取組として、大地の成り立ちを学ぶことにより起こった災害、これから起こるであろう災害を知り、体験談や遺構により災害を伝えている。そのような取組を紹介する。

W11

LIVE REAL

自治体向け 一般向け

DIG2022 津波防災編テストラン in いわて釜石

釜石から学ぶ: DIG で考える南海トラフ巨大地震に向けた津波防災まちづくり

主催団体: 海ぼうずの会 (「ふじのくに DIG セミナー」参加者の会)

11/6(土) 10:30 場所: 釜石市民ホール TETTO スタジオ B

サブタイトルを「釜石から学ぶ: DIG で考える南海トラフ巨大地震に向けた津波防災まちづくり」としました。釜石での東日本大震災からの復旧復興経験を、南海トラフ巨大地震に向けた災害予防(津波防災まちづくり)にどう活かすか。現在取りまとめ中のDIG2022 津波防災編のノウハウを用いて(時間の関係上ダイジェスト版になります)、この課題に取り組んでみたいと思います。

W12

ONLINE LIVE REAL

一般向け

いのちを守る防災 CAMP

主催団体: 一般社団法人 いのちを守る at プロジェクト JAPAN

11/6(土) 16:30 場所: 釜石市民ホール TETTO スタジオ B

いのちを守る伝道師。高貝正芳によるぼうさい教室。遊びや勉強を通じて学んだことで いのちを守る武器にする体験型教室です。パフォーマンスとセミナーを融合させた、楽しみながら学べる 防災エンタワークションは全世代の方が一緒に防災について話し合う機会が生まれます。「目的いのちを守ること。守りたいのちで大切な人を守り生き抜くこと。」

W13

REAL

子供向け 一般向け

備えあれば余裕あり!? Let's パーチャル体験

主催団体: 株式会社 東京海上日動パートナーズ東北

11/7(日) 10:00 場所: 釜石市民ホール TETTO スタジオ B

保険代理店である私たちが伝えられる想い・使命を形にするため、「被災経験をされたお客様のインタビュー動画」や弊社独自の「防災ツール(クリアファイルや災害ポケットメモ)」等を全て自分達で作成しました。当日は、来場者の方に浸水被害や土砂災害のバーチャル体験を通じて、「災害」を疑似体験してもらうとともに、作成ツールの説明・配布・視聴を通じて、日頃の備えの大切さについて等お伝えしたいと考えています。

W14

REAL

子供向け 一般向け

災害発生、さあどうする!?

~時系列で考える災害対応~

主催団体: 株式会社明石スクールユニフォームカンパニー

11/7(日) 12:30 場所: 釜石市民ホール TETTO スタジオ B

【内容】5人程度のグループに分かれ、災害発生の条件を設定し、どのような災害対応ができるかを時系列で考えます。一人ひとりが日頃から災害に備え、学校で安全な環境を整えられるように、災害時に起こりうること、それに対してどのような備えができるかについて話し合いたいと考えております。

【講師】諏訪 清二 先生 (兵庫県立大学大学院減災復興政策研究科・特任教授)

W15

ONLINE

自治体向け 一般向け

時代の要請で生まれた! “おうち避難トイレ” 発売記念ワークショップ

~災害関連死とトイレの密接な関係!

災害関連死をゼロにするためには何をすべきか?~

主催団体: 日本セイフティー株式会社

11/6(土) 10:30 場所: WS ライン

災害関連死とは、災害以外の要因で亡くなってしまいます。要因は様々ですが、実はトイレは災害関連死を引き起こす疾患と密接な関係があります。都市部での避難所不足や感染症対策などを背景に、在宅避難が推奨されている今、安心して使える快適な“おうち避難”トイレを各世帯で準備する必要性が高まっています。防災関連死をゼロにするために、どのような準備をしておくべきかトイレの側面から一緒に考えていきます。

W16

ONLINE

子供向け 一般向け

電子工作×防災課題「雨量計をつくろう」

主催団体: 一般社団法人 Do It Yourself

11/6(土) 14:30 配信: WS ライン

実際の観測に使われる「転倒マス型雨量計」を3Dプリンタ出力品と、基板へのはんだ付けにより製作します。溜まる量で転倒するマスに連動しLEDが点灯、その回数によって水量を計測して雨量が算出できます。マイコンでも動作する雨量や累積雨量を表示したり、設定雨量でメール配信するプログラムも公開します。防災への関心に頼らない好奇心に訴求し、雨量情報や避難行動への関心を高めます。キットは事前購入で郵送となります。

W17

ONLINE

自治体向け 一般向け

これだけは知っておきたい 災害時の子ども支援 「28の基準」(人道的行動における子どもの保護の最低基準)

主催団体: 公益社団法人セーブ・ザ・チルドレン・ジャパン

11/6(土) 16:30 場所: WS ライン

災害など緊急支援の現場で、子どもたちが危険にさらされることなく安心・安全に過ごせるために、支援者はどのような点に気を付ける必要があるのでしょうか。2021年に発行された「人道的行動における子どもの保護の最低基準(第2版)」をもとに、子どもを適切に守るために支援関係者が知っておくべき28の基準をレクチャーとグループワークを通して学びます。

W18

ONLINE

子供向け 一般向け

鯉こいキャラバン ~楽しく体験・学ぶ防災減災イベント~

主催団体: 広島市防災士ネットワーク

11/7(日) 10:00 配信: WS ライン

「鯉こいキャラバン!」は町内会・自主防災組織など地域の方々と協力して開催し、来場者に防災ゲームや防災工作などの体験や広島市の豪雨災害の被災状況などの展示、被災者の声を紹介することで、大規模土砂災害の実態と日ごろの防災の大切さを訴え、さらに災害による犠牲者ゼロ実現への活動を紹介する防災イベントです。「鯉こいキャラバン!」の紹介や実際のゲームを体験して、防災イベント開催への推進や防災への興味付けを行う。

W19

ONLINE

一般向け

避難の呼びかけ体制づくりと 住民の避難行動計画作成ワークショップ

主催団体：広島防災リーダーネットワーク会議

11/7(日) 12:30 場所：WS ライン

西日本豪雨災害の際、多くの方が避難行動を取らず被災。しかし、避難した人から「他者からの呼びかけ」の有効性が判明。広島県は「避難の呼びかけ体制づくり」マニュアルを作成し、一人一人の避難行動計画「ひろしまマイ・タイムライン」の波及により、災害から身を守る行動を推進している。今回は「避難の呼びかけ体制づくり」のワークショップや「ひろしまマイ・タイムライン」作成などを体験し防災活動への参考にしてもらう。

W20

ONLINE

学生向け 一般向け

防災教育交流会

主催団体：防災教育チャレンジプラン実行委員会

11/6(土) 10:30 配信：WS ライン2

本大会のテーマである「～震災から10年～つながりが創る復興と防災力」を踏まえ、基調講演および意見交換会を行うことにより、今後の防災教育の普及推進に向けた検討課題の共有化を図ります。

1. いのちでんこ～釜石東中の災害を知ること伝えること～(村上祥子)
2. 阪神淡路大震災の体験者は何を語るのか(諏訪清二)
3. 災害の歴史をふりがえる意味-昭和三陸津波の「復興の歌」について-(北原糸子)
4. 東日本大震災をどのように伝えるか(佐藤翔輔)

W21

ONLINE

一般向け

東日本大震災から10年 防災への意識を高めよう 「日頃の備え・避難することになったら、なにが必要？」

主催団体：日本赤十字社

11/6(土) 14:30 配信：WS ライン3

東日本大震災等過去の災害の教訓を踏まえ、人々のいのちを守るためには、地域コミュニティにおける「自助」と「共助」の力を高める必要であることから、弊社の防災教育事業「赤十字防災セミナーの紹介」を行います。

W22

LIVE

自治体向け 一般向け

災害時における授乳アセスメント(聞き取り)を 体験しよう

主催団体：母と子の育児支援ネットワーク

11/7(日) 12:30 配信：申し込みした方のみ配信

内閣府男女共同参画局「災害対応力を強化する女性の視点～男女共同参画の視点からの防災・復興ガイドライン～」(2020)に載った授乳アセスメントシートを参加者がオンラインのグループワークで体験的に使う。避難所等で授乳中の母子に接する可能性のある人がこのシートを使うことで、母乳を飲ませている女性が安心して継続でき乳児用ミルクが必要な人には安全に使うための支援ができるようになることを目指す。

W23

ONLINE

一般向け

「話題のFMB(ファーストミッションボックス)を 体験してみよう」<https://fmbox.jp/>

主催団体：一般社団法人危機管理教育研究所

11/6(土) 14:30 配信：事前申込み

1. FMBXの説明および実際に導入した担当者からの導入事例紹介
 2. サンプルのFMBXを用いた体験訓練
 3. 属性別(自治体、マンション、避難所、企業、園・学校等)にFMBXの効果を検証
- 以上をオンラインでも配信

W24

ONLINE

自治体向け 一般向け

AIチャットボットによる災害時対応と 防災DXの推進

主催団体：株式会社ピースポーク

11/6(土)・11/7(日) 終日 配信：オンデマンド

- ・目的対象：災害時の課題解決(避難誘導、避難場所の情報提供、住民以外への情報発信、問合せ対応の混雑による連絡不通、多言語による対応等)
- ・AIチャットボットのご紹介
- ・デモンストラレーションの実施
- ・過去の取組みや実績のご紹介
- ・質疑応答

プレゼンテーション



P01

REAL

一般向け 自治体向け

電気火災を減らすための防災製品をご紹介します!

主催団体：河村電器産業株式会社

P03

REAL

一般向け 学生向け

まさか被災するなんて

—自分は大丈夫と思ったときから不安全行動がはじまる—

主催団体：一般社団法人 危機管理・労働災害防止機構

P05

REAL

一般向け 自治体向け

「逃げ地図」と「キツネを探せ!」の紹介と体験

主催団体：一般社団法人子ども安全まちづくりパートナーズ

P02

REAL

一般向け 子供向け

建設会社の防災活動

主催団体：一般社団法人 日本建設業連合会

P04

REAL

一般向け 自治体向け

頻発する自然災害に備えて

～東日本大震災からの復興支援や災害対応支援の取組みの紹介～

主催団体：独立行政法人都市再生機構

P06

REAL

自治体向け 企業向け

地震や津波に粘り強い「インプラント構造物」

主催団体：株式会社 技研製作所

P07 REAL

一般向け 自治体向け

**みんなで考えましょう！
「あかり」による防災とりくみ**

主催団体：一般社団法人 日本照明工業会

P08 REAL

自治体向け 企業向け

**ヘリポート夜間照明システム
(可搬型 HEXAGON⇒ドクターヘリ)**

主催団体：株式会社アクアキューブ

P09 REAL

自治体向け 企業向け

**ノンアルコール・アトピー肌用化粧品から生まれた
ウエットティッシュ(化粧品類)！**

主催団体：エピスタコーポレーション/株式会社ブリート

P10 REAL

一般向け

東日本大震災からの復興の状況と取組

主催団体：復興庁岩手復興局

P11 REAL

一般向け 自治体向け

被災者の身元確認に有効な「足紋」の採取会

主催団体：特定非営利活動法人全国足紋普及協会

P12 REAL

学生向け

学生たちのウェルカム防災

主催団体：よんなな防災会学生部

P14 REAL

一般向け 企業向け

防災対策用 タングステン耐切創手袋

主催団体：パナソニックライティングデバイス 株式会社

P15 REAL

一般向け 企業向け

**断水の備えに飲用水の備蓄だけでは足りません、
生活用水の備蓄も考えませんか？**

主催団体：大丸鐵興株式会社

P16 REAL

一般向け 子供向け

「国総研」は、日本の国土を診る【総合病院】

主催団体：国土交通省 国土技術政策総合研究所

P17 REAL

学生向け 企業向け

**復興支援活動（東日本大震災）を通しての学生の
学び（2014年度から2020年度までの学生の活動と学び）**

主催団体：名古屋学芸大学

P18 REAL

自治体向け 企業向け

小中学生に向けた防災企画

主催団体：株式会社リブライト

P19 REAL

一般向け 自治体向け

いのちを守る防災教育の実践

主催団体：一般社団法人防災教育普及協会

P20 REAL

一般向け 学生向け

災害体験を語り継ぐ意味

主催団体：防災教育学会

P21 REAL

一般向け 学生向け

**宮城県多賀城高等学校 防災減災教育の取組
～東日本大震災から10年が経過して～**

主催団体：宮城県多賀城高等学校

P22 REAL

一般向け 子供向け

**子どもの未来の為に・・・
防災自助は子どもの頃から始まる**

主催団体：特定非営利活動法人 防災自助普及委員会

P23 REAL

一般向け 企業向け

「公助」・「自助」・「共助」に対する『備え』

主催団体：(株)ハタヤリミテッド

P24 REAL

一般向け 自治体向け

**防災士制度の普及活動、
防災士のための活動支援、情報提供**

主催団体：特定非営利活動法人日本防災士会

P25 REAL

一般向け

地域に根付いた学生防災とは？

主催団体：静岡大学学生防災ネットワーク

P26 REAL

自治体向け 企業向け

雪国を幸国に変える

主催団体：有限会社鈴文

P27 REAL

一般向け 自治体向け

**歴史文化の災害対策
—「歴史文化資料保全の大学・共同利用機関ネットワーク事業」の紹介—**

主催団体：国立歴史民俗博物館

P28 REAL

一般向け 自治体向け

**自身の安否や、支援物資の要望を
「見せる」「伝える」防災グッズ**

主催団体：シンロイヒ株式会社

P29 REAL

一般向け 自治体向け

**地域の避難訓練、防災計画づくり、
岩手県立大がお手伝いします！**

主催団体：公立大学法人岩手県立大学

P30 REAL

一般向け

「あかしの井戸」新しい井戸と井戸端

主催団体：一般社団法人 日本照明工業会

P32 REAL

一般向け 自治体向け

地盤技術のプロバイダー

主催団体：三信建設工業株式会社

P34 REAL

企業向け 専門向け（学術界）

産官学の連携で防災ビジネスのイノベーションを推進！

主催団体：一般社団法人 日本防災プラットフォーム（JBP）

P36 REAL

一般向け 自治体向け

ジャッキのパワーを体験しよう！

主催団体：竹内工業株式会社

P38 REAL

自治体向け 企業向け

日本人の防災力向上と防災教育プログラムのご紹介

主催団体：一般財団法人 防災教育推進協会

P40 REAL

一般向け

お住いの地盤診断サービス

～地盤の強さや、自然災害のリスクを確認～

主催団体：こくみん共済 coop（全国労働者共済生活協同組合連合会）

P42 REAL

自治体向け 子供向け

子どもたちが自ら考えて行動する力を身につける体験学習

主催団体：一般社団法人 72 時間サバイバル教育協会

P44 REAL

自治体向け 企業向け

レジリエンスの高い持続力のある社会を目指して

～災害時に必要な燃料・電源等のエネルギーを補い合う共同備蓄スキーム～

主催団体：株式会社レジリエンスラボ／株式会社明電舎

P46 REAL

自治体向け 企業向け

経営の強靱化を支援します！

主催団体：独立行政法人 中小企業基盤整備機構

P48 REAL

一般向け 企業向け

SDGsに寄与する防災備蓄品の有効活用

主催団体：公益社団法人 日本非常食推進機構

P50 REAL

一般向け 学生向け

防災気象情報の利活用

主催団体：盛岡地方気象台

P52 REAL

一般向け 自治体向け

「防災環境都市・仙台」の実現に向けて

主催団体：仙台市防災環境都市推進室

P31 REAL

一般向け

復興の歩み

主催団体：岩手県

P33 REAL

自治体向け 学生向け

行政をはじめとして幅広い防災の繋がりを全国へ

主催団体：よんなな防災会

P35 REAL

自治体向け 企業向け

災害時の外国人支援

～多言語表示・指差して会話ができるツール、外国人支援の取組を紹介！～

主催団体：一般財団法人 自治体国際化協会（クリア CLAIR）

P37 REAL

一般向け 自治体向け

新時代の防災必需品「ポータブル電源」

主催団体：LACITA

P39 REAL

一般向け 自治体向け

全国統一型避難誘導標識の普及・啓発について

主催団体：特定非営利活動法人都市環境標識協会

P41 REAL

一般向け 自治体向け

Rethink PROJECT 東日本大震災復興支援

主催団体：日本たばこ産業株式会社

P43 REAL

一般向け 自治体向け

まちを知ることから始めよう～地図×防災～

主催団体：株式会社ゼンリン

P45 REAL

自治体向け 企業向け

まるごと防災WITH 感染対策

～ニューノーマル時代の防災～

主催団体：帝人フロンティア株式会社

P47 REAL

一般向け 自治体向け

国土強靱化の取組について

主催団体：内閣官房国土強靱化推進室

P49 REAL

一般向け 自治体向け

地震調査研究推進本部の取組について

主催団体：地震調査研究推進本部／文部科学省研究開発局地震・防災研究課

P51 REAL

一般向け 自治体向け

わがまちは自分たちで守る

「防災まちづくり事業」について

主催団体：広島市

P53 REAL

一般向け 自治体向け

東日本大震災・原子力災害伝承館

主催団体：公益財団法人 福島イノベーション・コースト構想推進機構
東日本大震災・原子力災害伝承館

P54 REAL

一般向け 自治体向け

津波防災の聖地 津波太郎(田老)の津波防災文化から学ぶ—津波警報技術の向上で安心安全な社会を—

主催団体：NPO 津波太郎

P56 REAL

一般向け 企業向け

連合災害ボランティアの軌跡～労働組合としてできること～

主催団体：日本労働組合総連合会(連合)

P58 REAL

一般向け 子供向け

3.11 リボンプロジェクト～あの日を忘れない、未来を結ぶ絆～

主催団体：株式会社 東京海上日動パートナーズ東北

P60 REAL

一般向け 専門向け(学術界)

国立国会図書館東日本大震災アーカイブ(ひなぎく)

主催団体：国立国会図書館

P62 REAL

一般向け 自治体向け

大丈夫? あなたとペットの災害対策

主催団体：環境省自然環境局総務課動物愛護管理室

P64 REAL

一般向け

コンパクト設計で全身のケアが出来るフットケア機器のご紹介です

主催団体：株式会社メルシー

P66 REAL

自治体向け 専門向け(学術界)

ダイハードネットワーク®

主催団体：国立研究開発法人情報通信研究機構

P68 REAL

自治体向け 専門向け(学術界)

防災科研が取り組む防災・減災に関する様々な研究活動や陸海統合地震津波火山観測網「MOWLAS」の紹介

主催団体：防災科学技術研究所

P70 REAL

一般向け 専門向け(学術界)

三陸漁業集落の震災復興まちづくり

主催団体：株式会社唐丹小白浜まちづくりセンター

P72 REAL

一般向け 自治体向け

東日本大震災を教訓を活かし、南海トラフ地震による超広域災害への備えを強力に進めよう

主催団体：南海トラフ地震による超広域災害への備えを強力に進める10県知事会議

P74 REAL LIVE

一般向け 自治体向け

「DIG2022 津波防災編」で考える東日本大震災と南海トラフ巨大地震の津波防災

主催団体：海ぼうずの会(「ふじのくにDIGセミナー」参加者の会)

P55 REAL

一般向け

宮城県震災復興パネル展「あなたの応援を力に。今までも。これからも。」

主催団体：宮城県復興・危機管理部復興支援・伝承課

P57 REAL

一般向け

福島県の復興状況

主催団体：福島県

P59 REAL

一般向け

世界防災フォーラム World Bosai Walk TOHOKU+10のご紹介

主催団体：一般財団法人 世界防災フォーラム

P61 REAL

自治体向け 子供向け

地域防災・学校防災

主催団体：YY防災

P63 REAL

一般向け 自治体向け

福祉 BCP と福祉避難所

主催団体：一般社団法人 福祉防災コミュニティ協会

P65 REAL ONLINE

一般向け

血行促進

主催団体：株式会社ヤマト

P67 REAL

自治体向け 専門向け(学術界)

通信途絶時でも使える可搬型ローカル通信システム(LACS)と災害情報のスムーズな取得/共有/発信を可能にするポータブル SIP4D

主催団体：株式会社国際電気通信基礎技術研究所(ATR)

P69 REAL

一般向け

東北大学災害科学国際研究所の社会への発信

主催団体：東北大学災害科学国際研究所

P71 REAL

自治体向け 企業向け

国土を強靱にする地盤改良技術

主催団体：株式会社 エスエスティー協会

P73 REAL ONLINE

自治体向け 企業向け

南海トラフ地震に備える—防災対策に資する南海トラフ地震調査研究プロジェクト—

主催団体：防災対策に資する南海トラフ地震調査研究プロジェクト

P75 REAL

一般向け 自治体向け

1日でも早くふだんの暮らしを取り戻すため～災害ボランティア活動の紹介～

主催団体：社会福祉法人岩手県社会福祉協議会

P76

REAL

一般向け

「被災地と共に歩んだ、復興への道程」 イオンの東日本大震災支援の取り組み

主催団体：イオン株式会社 東日本大震災復興支援「心をつなぐプロジェクト」

P78

REAL

一般向け 自治体向け

みんなネットワークの取り組み

主催団体：一般社団法人みんなネットワーク

P80

ONLINE

子供向け

絵本×オンライン×地域×ママの防災活動紹介

主催団体：防災ママかきつばた

P82

ONLINE

一般向け 子供向け

つくる！なおす！まもる！地域建設業の取り組み

主催団体：一般社団法人全国建設業協会

P84

ONLINE

一般向け 自治体向け

災害支援のWikipedia「サイガイペディア」と、 物資支援のコーディネートツール

主催団体：NPO法人 岡山NPOセンター

P86

ONLINE

自治体向け 企業向け

支援物資の発注業務をDX化する スマートサプライEC

主催団体：公益社団法人中越防災安全推進機構

P88

ONLINE

一般向け 企業向け

子育て世代の災害時の悩みや不安に向き合い 続ける防災ボックス

主催団体：有限会社 西谷

P90

ONLINE

自治体向け 企業向け

温めずに食べられるレトルトカレー “常備用カレー職人”のご紹介

主催団体：江崎グリコ株式会社

P92

ONLINE

自治体向け 企業向け

-AIによる被害状況可視化と住家被害認定調査のデジタル化- 『罹災証明交付迅速化に向けた取り組み』

主催団体：富士フィルムシステムサービス株式会社

P94

ONLINE

一般向け 子供向け

一命から読み解く災害への備えー

主催団体：WPPグループ Japan Pet Press

P96

ONLINE

一般向け 自治体向け

平時の支援：災害時 乳幼児が適切な栄養を 受け取れるために

主催団体：NPO法人 日本ラクテーション・コンサルタント協会

P77

REAL

自治体向け

災害時施設状況伝達横断幕SOSシート

主催団体：丸木医科器械株式会社

P79

REAL

一般向け 企業向け

ジオワークサイエンスの取り組み

主催団体：ジオワークサイエンス

P81

ONLINE

一般向け 自治体向け

段ボールジオラマ防災授業

主催団体：一般社団法人 防災ジオラマ推進ネットワーク

P83

ONLINE

企業防災 専門向け(学術界)

地域とともに未来を創る～東日本大震災から10年～

主催団体：イオン株式会社

P85

ONLINE

自治体向け

ドローンを駆使し南海トラフ地震から豊橋市及び東三 河地域を守る！豊橋市ドローン飛行隊「RED GOBLINS」

主催団体：豊橋市ドローン飛行隊「RED GOBLINS」

P87

ONLINE

自治体向け 企業向け

防災避難着 早期発見全身反射ポンチョ

主催団体：株式会社スギタ

P89

ONLINE

一般向け 企業向け

新しい防災資格「災害備蓄管理士」の受講募集

主催団体：一般社団法人 防災安全協会

P91

ONLINE

一般向け 自治体向け

火山防災トップシティ 鹿児島市 ～大規模噴火に備えたかざん防災対策～

主催団体：鹿児島市

P93

ONLINE

自治体向け 企業向け

避難所ソリューション。市内全域の避難所開設を “ココBOX”でスムーズに展開。

主催団体：ビット・パーク株式会社

P95

ONLINE

一般向け 企業向け

防災専門図書館企画展

「東日本大震災から10年」を開催！

主催団体：防災専門図書館（公益社団法人 全国市有物件災害共済会）

P97

ONLINE

一般向け 自治体向け

「福島から発信する防災教育」

主催団体：福島大学うつくしまふくしま未来支援センター

P98

ONLINE

一般向け 子供向け

みえ防災・減災センター及びみえ防災・減災アーカイブの紹介

主催団体：三重県・三重大学 みえ防災・減災センター

P100

ONLINE

一般向け 専門向け(学術界)

「Build Back Better(よりよい復興)」に関する経験と教訓の発信

主催団体：国際復興支援プラットフォーム(IRP)

P99

ONLINE

一般向け 自治体向け

防災安全合わせガラスの有効性

主催団体：機能ガラス普及推進協議会



屋外展示

001

LIVE REAL

一般向け 自治体向け

老いも若きも みな一緒に介助運搬車(手押し車)で避難。

主催団体：NPO法人日本防災用品技術研究協会

004

REAL

自治体向け 企業向け

災害食を通じて人々を支える

主催団体：ホリカフーズ株式会社

006

REAL

一般向け 自治体向け

体験可！感震ブレーカー&停電時の携帯充電

主催団体：日東工業株式会社

008

REAL

自治体向け 企業向け

“ぼうさいのフジタ”

～総合建設会社によるハード/ソフトぼうさいへの取り組み

主催団体：株式会社フジタ

010

REAL

一般向け 自治体向け

熊本地震から5年。令和2年7月豪雨から1年。「創造的復興」のいま。

主催団体：熊本県

012

REAL

一般向け 学生向け

教訓が、いのちを救う『3.11 伝承ロード』

主催団体：震災伝承ネットワーク協議会(国土交通省 東北地方整備局)

014

REAL

自治体向け 専門向け(学術界)

VRやICTを活用した防災減災学習

主催団体：有限会社アシストコム

016

LIVE REAL

一般向け 子供向け

【ゆれくる遊撃隊】オリジナルのサバイバルカードを作ろう！

主催団体：アールシーソリューション株式会社

002

REAL

自治体向け 企業向け

**進化し続けるけるトランシーバー
ートランシーバー 10年間の進化ー**

主催団体：アイコム株式会社

005

REAL

一般向け 自治体向け

自治体向け

主催団体：一般社団法人 浄化槽システム協会

007

REAL

一般向け 企業向け

震災10年。改めて考えるその時のモノとココロの「備え」

主催団体：株式会社 MT-NET

009

REAL

専門向け(学術界)

「VRの技術を使った災害体験と、より効果の高い避難広報への提案」

主催団体：株式会社白獅子

011

LIVE REAL

一般向け 自治体向け

科学技術で大規模災害の被害を軽減

主催団体：公益社団法人日本技術士会防災支援委員会

013

REAL

自治体向け 専門向け(学術界)

災害用トイレの備蓄調査の結果発表

主催団体：一般社団法人日本トイレ協会 災害・仮設トイレ研究会

015

LIVE REAL

自治体向け 専門向け(学術界)

要配慮者避難 着脱けん引式車いす補助装置体験

主催団体：株式会社 JINRIKI

017

REAL

一般向け

**東日本大震災から10年 防災への意識を高めよう
「日頃の備え・避難することになったら、なにが必要？」**

主催団体：日本赤十字社

018

REAL

自治体向け 企業向け

NTTドコモの災害対策

主催団体：株式会社 NTT ドコモ 東北支社 岩手支店

020

REAL

一般向け 自治体向け

非常災害時における通信・放送の確保のために

主催団体：総務省 東北総合通信局

022

REAL

自治体向け 企業向け

市民を守る新しい公助のカたち、
共創で災害時のトイレ問題解決に挑む！

主催団体：災害派遣トイレネットワーク「みんな元気になるトイレ」

024

LIVE REAL

一般向け 自治体向け

NTT 東日本の災害における取組み
(災害対策機器の展示・サービスの体験)

主催団体：東日本電信電話株式会社 岩手支店

019

REAL

一般向け

薬剤師会 モバイルファーマシー展示

主催団体：公益社団法人 日本薬剤師会

021

REAL

一般向け

「防災そぼっち号」(地震体験車)による
防災体験プログラム

主催団体：岩手県

023

REAL

一般向け 子供向け

車両展示

主催団体：自衛隊岩手地方協力本部



防災関連イベント

11月5日は
津波防災の日
世界津波の日

あわせて開催

ぼうさいこくたい2021
開催日時
2021年11月6日 10:00-18:00
7日 10:00-15:30

防災×テクノロジー官民連携プラットフォーム
第2回マッピングセミナー
開催日時
2021年11月9日 10:00-13:00

令和3年度
「津波防災の日」スペシャルイベント

参加無料

2021.11.5 (金) 14:00-17:00

いわて・かまいし
防災復興フェス

・IWATE KAMAISHI・
BOESAI FUKKO FESTA

防災復興WEB展示会 (11/6～) ※外部リンク
「防災を学習する場づくりプロジェクト」公開！
配信プログラム「伝えたいこと あの日は、私は小学2年生だった」
大福高校復興研究会(紙芝居) ほか「震災語り部動画」配信

「震災復興エクスカーション」
コースA
～自然と共存する暮らしを学ぶ～
参加者募集！

伝承施設、震災学習列車等を活用した“学び”のプログラムをご用意

◆11月7日(日) 権行
コースA:釜石-宮古コース(定員18名)
復興スタジアムガイド・三陸鉄道東車・浄土ヶ浜漁船クルーズ
参加費(昼食付)お一人様5,000円(込)

防災×テクノロジー
官民連携プラットフォーム

日時：2021年11月5日(金)
開催場所：岩手県釜石市 釜石市民ホールTETTO
(ぼうさいこくたい2021会場)
※オンライン(Zoom)同時開催

予約なしで
当日参加可能



国内最大級の防災イベント

全国津々浦々の防災の取組を 見て! 学んで! 体験できる!

オンラインで参加ができます。
大会ホームページからご参加ください。

家族で
学べる!



セッション も **ワークショップ** も
事前申込不要で当日参加もできます。

※一部事前申し込み有り ※催事によっては定員に達した場合参加できません

詳しくは **WEBサイト** で

ぼうさいこくたい 検索 >



テレビ岩手制作

東日本大震災10年ドキュメンタリー映画 『たゆたえども沈まず』

ワントゥタイム上映会 **11月6日 21時** 上映時間 104分

大会ホームページで上映会開催。どなたでも視聴できますが、大会中1回限り上映となります。どうぞお見逃しなく!



情報は
こちらから



「オンライン語り部・遠隔授業」実施してます!

いのちをつなぐ未来館

釜石市の防災学習の取り組みや、東日本大震災津波で得た教訓などを紹介する展示スペースと、ワークショップなどに活用できる防災学習室を備えた施設。来館できない方に向けた「オンライン語り部」も行っています。



参加は未来館の
ホームページから



いのちをつなぐ未来館
語り部 川崎杏樹さん

防災に関わる 多数の団体が参加 (順不同)

セッション

- 株式会社 JINRIKI
- 公益財団法人 味の素ファンデーション
- 公益財団法人 日本地震学会
- 東京大学 災害対策トレーニングセンター(DMTC)
- TEAM防災ジャパン
- 一般社団法人 DroneAI 技術研究機構
- 内閣府防災 普及啓発・連携担当
- 広島県
- 中小企業庁 事業環境部 経営安定対策室
- 防災学術連携体・日本学術会議
- 一般社団法人 日本ドローンコンソーシアム
- 東北大学 災害科学国際研究所
- NPO法人 持続可能な環境共生林業を実現する自伐型林業推進協会
- 防災教育学会
- 公益財団法人 日本医師会
- 岩手県
- 公益財団法人 日本消防協会
- いわてNPO災害支援ネットワーク
- 一般財団法人 危機管理教育&演習センター
- 岩手大学 地域防災研究センター
- アールシーソリューション株式会社
- 防災減災連携研究ハブ、日本学術会議土木工学・建築委員会 IRDR 分科会
- 特定非営利活動法人 東京いのちのポータルサイト
- 清流の国ふぶ、防災・減災センター
- 特定非営利活動法人 日本防災士会
- 株式会社明石スクールユニフォームカンパニー
- 特定非営利活動法人 全国災害ボランティア支援団体ネットワーク(JVOAD)
- 独立行政法人 都市再生機構
- TEAM防災ジャパンお世話係メディアチーム
- WAA ReSCue 準備委員会
- 災害文化研究会
- 一般社団法人 日本リモートセンシング学会
- 内閣府男女共同参画局
- 一般社団法人 日本損害保険協会
- 一般社団法人 男女共同参画地域みらいねっと
- 災害派遣トイレネットワーク「みんな元気になるトイレ」
- 阪神・淡路大震災記念人と防災未来センター
- よんなな防災会ナッジネット行動防災チーム
- 特定非営利活動法人 事業継続推進機構
- 一般社団法人 いのちを守るatプロジェクトJAPAN

ワークショップ

- 海ぼうずの会(ふじのくにDIGセミナー)参加者の会)
- 一般社団法人 あでやか切り絵協会
- 防災教育チャレンジプラン実行委員会
- 一般社団法人 おいしい防災塾
- 日本セイフティー株式会社
- 一般社団法人 DoIt Yourself
- 日本たばこ産業株式会社
- 公益財団法人 ボーイスカウト日本連盟
- 日本赤十字社
- 一般社団法人 危機管理教育研究所
- 認定NPO法人 防災・減災サポートセンター
- 一般社団法人 いのちを守るatプロジェクトJAPAN
- 東北大学 災害科学国際研究所 地震津波リスク評価(東京海上日動)寄附研究部門
- 公益社団法人 セーブ・ザ・チルドレン・ジャパン
- ペット防災サポート協会
- 防災専門図書館(公益社団法人 全国市有物件災害共済会)
- 一般社団法人 防災教育普及協会
- 広島市防災士ネットワーク
- 株式会社東京海上日動パートナーズ東北
- 日本ジオパークネットワーク
- 広島防災リーダーネットワーク会議
- 株式会社明石スクールユニフォームカンパニー
- 株式会社ピースポーク
- 母と子の育児支援ネットワーク

屋外展示

- 岩手県
- 日東工業株式会社
- 株式会社MT-NET
- 株式会社白獅子
- 公益社団法人 日本薬剤師会
- NPO法人 日本防災用品技術研究協会
- 飛鳥特装株式会社
- 公益社団法人 日本技術士会防災支援委員会
- 熊本県
- アールシーソリューション株式会社
- 災害派遣トイレネットワーク「みんな元気になるトイレ」
- 総務省 東北総合通信局
- 一般社団法人 浄化槽システム協会
- ホリカフーズ株式会社
- 有限会社アシストコム
- 株式会社 JINRIKI
- 震災伝承ネットワーク協議会(国土交通省 東北地方整備局)
- 東日本電信電話株式会社 岩手支店
- 日本赤十字社
- 一般社団法人 日本トイレ協会 災害・仮設トイレ研究会
- 株式会社フジタ
- 株式会社 NTTドコモ 東北支社 岩手支店
- アイコム株式会社
- 特定非営利活動法人 岡山NPOセンター

プレゼンテーション

- YY防災
- 防災ママかきつばた
- ビット・パーク株式会社
- 一般社団法人 防災シオラマ推進ネットワーク
- 株式会社スギタ
- 株式会社ヤマト
- 株式会社メルシー
- WPPグループ Japan Pet Press
- 公益財団法人 福島イノベーション・コースト構想推進機構
- 東日本大震災・原子力災害伝承館
- 一般社団法人 72時間サバイバル教育協会
- 広島市
- 三信建設工業株式会社
- 竹内工業株式会社
- 環境省 自然環境局総務課動物愛護管理室
- 機能ガラス普及推進協議会
- 鹿児島市
- 株式会社リミテッド
- LACITA
- 防災専門図書館(公益社団法人 全国市有物件災害共済会)
- 国立国会図書館
- 名古屋学芸大学
- 株式会社リブライト
- 株式会社センシブル
- 国立研究開発法人 情報通信研究機構
- 特定非営利活動法人 日本防災士会
- エビスタコーポレーション/株式会社ブリート
- NPO法人 日本ラクテーション・コンサルタント協会
- 一般社団法人 防災教育普及協会
- 一般財団法人 防災教育推進協会
- 福島大学うつくしまふくしま未来支援センター
- 丸本医科器械株式会社
- 一般社団法人 全国建設業協会
- 株式会社アークキューブ
- 株式会社サンコー
- 有限会社西谷
- NPO法人 津波太郎
- 富士フィルムシステムサービス株式会社
- 国際復興支援プラットフォーム(IRP)
- 特定非営利活動法人 都市環境協議会
- 防災教育学会
- 一般社団法人 防災安全協会
- 社会福祉法人 岩手県社会福祉協議会
- 一般社団法人 福祉防災コミュニティ協会
- パナソニックライティングデバイス株式会社
- 内閣府国土強靱化推進室
- 宮城県復興・危機管理回復支援・伝承課
- 国土交通省 国土技術政策総合研究所
- 南海トラフ地震による超広域災害への備えを強力に進める10県知事会議
- イオン株式会社総務部
- こくみん共済coop(全国労働者共済生活協同組合連合会)
- 一般財団法人 自治体国際化協会
- イオン株式会社
- 東日本大震災復興支援「心をつなぐプロジェクト」
- 一般社団法人 みんなぼうネットワーク
- シオワーク/サイエンス
- 公益社団法人 日本非常食推進機構
- 静岡大学 学生防災ネットワーク
- 地震調査研究推進本部/文部科学省研究開発局地震・防災研究課
- 株式会社国際電気通信基礎技術研究所
- 宮城県多賀城高等学校
- 株式会社技研製作所
- 株式会社レジリエンスラボ、株式会社明電舎
- 一般社団法人 日本照明工業会
- 日本労働組合総連合会(連合)
- 河村電器産業株式会社
- 有限会社鈴文
- 一般社団法人 日本建設業連合会
- 大学共同利用機関法人 人間文化研究機構 国立歴史民俗博物館
- 防災科学技術研究所
- 特定非営利活動法人 防災自助普及委員会
- よんなな防災会
- 東北大学 災害科学国際研究所
- 一般社団法人 日本防災プラットフォーム
- よんなな防災会学生部
- 独立行政法人 中小企業基盤整備機構
- 特定非営利活動法人 全国足紋普及協会
- 特定非営利活動法人 全国足紋普及協会
- 株式会社エスエスティー協会
- 福島県
- 仙台市 防災環境都市推進室
- 防災対策に資する南海トラフ地震調査研究プロジェクト
- 株式会社東京海上日動パートナーズ東北
- 株式会社唐丹小白浜まちづくりセンター
- シンロイヒ株式会社
- 一般社団法人 危機管理・労働災害防止機構
- 独立行政法人 都市再生機構
- 海ぼうずの会(ふじのくにDIGセミナー)参加者の会)
- 法人フロンティア株式会社
- 公立大学法人 岩手県立大学
- 日本たばこ産業株式会社
- HIGASHIDEAERU呼くくプロジェクト「あかしの井戸」
- 一般財団法人 世界防災フォーラム
- 復興庁 岩手復興局
- 盛岡地方気象台
- 公益社団法人 中越防災安全推進機構
- 一般社団法人 子ども安全まちづくりパートナーズ
- 岩手県
- 江崎グロコ株式会社
- 三重県・三重大学 みえ防災・減災センター